

教育委員会定例会事項書

平成30年7月27日(金)
13:30～ 教育委員室

1 開会宣言

議事録署名者 原 田 委 員

2 前回定例会審議結果の確認(別紙参照)

3 報告題

報告 1 平成30年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について

報告 2 訴えの提起に係る専決処分について

報告 3 平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

報告 4 第65回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県選手団について

4 閉会宣言

前回定例会の審議結果

1 日時

平成30年7月9日(月)

開会 9時00分

閉会 11時00分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 廣田教育長、森脇委員、岩崎委員、黒田委員

議事録署名者 森脇委員

4 採択議案の件名

議案第13号 職員の懲戒処分について

5 請願陳情の付議の結果

該当なし

6 諸般の報告

報告1 県立学校のブロック塀等の詳細調査結果と今後の対応方針について

報告2 平成30年度全国高等学校総合体育大会の準備状況について

報告3 第68回三重県高等学校総合体育大会総合成績及び表彰式並びに平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県選手団結団壮行式について

報告4 平成30年度三重県中学校総合体育大会の開催について

報告5 議会の議決すべき事件以外の契約等について

報告6 平成31年度三重県立高等学校入学者選抜に関する各高等学校別実施要項及び保護者の転住を伴わない県外からの入学志願に関する要項について

7 その他会議において必要と認めた事項

該当なし

報告 1

平成30年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について

平成30年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について、別紙のとおり報告する。

平成30年7月27日提出

三重県教育委員会事務局
小中学校教育課長

Handwritten text, possibly a title or header.

Handwritten text, possibly a title or header.

Handwritten text, possibly a title or header.

平成30年度第2回三重県教科用図書選定審議会の概要について

1 日時

平成30年6月18日(月) 13:30~15:00

2 場所

三重県合同ビル G401会議室

3 審議

(1) 「平成31年度使用中学校用『特別の教科 道徳』教科用図書選定に関する参考資料(案)」について

「平成31年度使用中学校用『特別の教科 道徳』教科用図書選定に関する参考資料(案)」について、各教科書の特徴についてポイントを絞って説明するとともに、各委員が各教科書を閲覧したうえで、審議を行いました。

① 各教科書についての説明の概要

- 現代的な課題の情報モラルについて、コラムが読みもの教材と組み合わせられて提示されるなど、生徒の生活体験及び興味・関心に対する配慮がなされている。
- 巻末に他の教科等との学習の関連を示し、幅広い視野で学習を深められるよう配慮されている。
- 「いじめ」や「いのち」について、複数教材を組み合わせたユニットが各学年に配置されるなど、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えられるよう工夫されている。
- 友だちや先生とより深く楽しく考え合えるよう、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材を取り上げ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
- 各教材の最後に「考える・話し合う」を配置し、生徒の主体的・対話的で深い学びを促すための手がかりとなる内容を示している。
- 学習指導要領の内容項目順に教材が配置されており、各学校等の特色や方針によって各教材を生かせるよう配慮されている。
- 「いじめ防止」「共に生きる」など、生徒に深く考えさせたい重要な現代的課題などを10種類のマークで表し、各教材の冒頭に掲載している。
- 巻末に「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」が掲載され、各都道府県に1人ずつ、身近な地域の人物や様々な分野で活躍した人々の言葉が取り上げられている。
- いずれの教科書も、いじめ、生命倫理、情報モラルなど、現代的な課題の扱いが充実していること、また、郷土に関わる教材も多く扱われている。

② 審議の概要

【質問】一部、作家の名前が紹介されているが、この教科書にだけ表記があるのは何か意味があるのか。

(回答) 作家が、この教科書のために書き下ろしたものが掲載されており、教科書の1つの特徴であると捉えたため表記したが、再度精査して修正する。

【質問】判型など、同じ内容のことを述べる場合は表記を統一した方がわかりやすいのではないか。また、「迫力のある写真」とは、適切な表現か。

(回答) 語句、表現について、再度精査して、必要に応じて修正する。

【意見】地域社会を扱った教材や、伝統・文化などが紹介されている教材として例示されている作品に違和感がある。

(回答) 地域社会という部分に注目して例示したが、より適切となるよう再度精査する。

【質問】「小学校とのギャップをなくすため」と1者だけ表記がある。他者の教科書も配慮されていると感じるが、1者だけ表記があるのはなぜか。

(回答) この教科書では、第1学年の教材の前半部分の文字が、以降より大きく表記されており、1つの特徴として捉えたため表記した。よりよい表現となるよう、再度精査する。

<審議の結果>

「平成31年度使用中学校用『特別の教科 道徳』教科用図書選定に関する参考資料(案)」は、事務局から一部修正の回答がなされたため、修正箇所についての検討は、会長と事務局で行い、決定については会長に一任と決定された。

(2) 三重県教科用図書選定審議会から三重県教育委員会への答申について(資料1参照)

<審議の結果>

「平成31年度使用中学校用『特別の教科 道徳』教科用図書選定に関する参考資料」の決定後、会長から事務局に答申文を提出することについて承認された。

平成30年6月18日

三重県教育委員会 御中

三重県教科用図書選定審議会

次の事項について、答申します。

平成31年度から小学校で使用する教科用図書及び中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について

平成30年4月25日付けで諮問された下記の事項について、本審議会は慎重に審議した結果、別添のとおり結論を得ましたので答申します。

記

- ・ 教科用図書採択地区協議会規約例
- ・ 小学校で使用する教科用図書の採択基準
- ・ 中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択基準
- ・ 三重県教科用図書選定審議会調査員の調査実施項目
- ・ 三重県教科用図書選定審議会調査員の選任
- ・ 平成31年度使用教科用図書選定に関する参考資料

100 100 100 100

100 100 100 100

100 100 100 100 100 100 100 100

100 100 100 100 100 100 100 100 100 100

100

100 100 100 100 100 100 100 100 100 100

平成31年度使用中学校用

「特別の教科 道徳」

教科用図書選定に関する参考資料

平成30年6月

三重県教育委員会

本年度は、平成31年度から中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択を行う年度に当たっています。

教科書は、学校における教科の主たる教材として使用しなければならないこととされており、その役割は極めて大きいものです。したがって、採択に当たっては、公正かつ適正を期さなければなりません。

県教育委員会は、各採択地区における教科書の採択に先立ち、教科書選定に関する参考資料を作成するため、三重県教科用図書選定審議会において調査実施項目を決定しました。これに基づき、平成29年度検定合格図書について、同審議会の調査員が専門的な立場から綿密な調査研究を実施し、その結果を本冊子にまとめました。

関係者におかれましては、この冊子を採択の参考資料として十分活用され、教科書の採択事務が厳正かつ円滑に実施されるようお願いいたします。

なお、限られた期間に教科書の調査研究を行い、その結果をまとめられた同審議会の調査員の方々に心から感謝いたします。

平成30年6月

三重県教育委員会

1 調査の基本的態度

この冊子は、平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択に当たって、各地区教科用図書採択協議会が独自の立場で行う教科用図書の調査研究に資するため作成したものである。

さきに県教育委員会が提示した「教科用図書採択地区における中学校で使用する『特別の教科 道徳』の教科用図書の採択基準」（平成30年5月1日付け教委第05-19号）が採択の一般的な方針、方法及び手続きの準則を示したものに対し、この冊子は、採択の対象となる個々の教科用図書の調査研究に基づいて、それぞれの特色を明らかにし、採択に当たっての具体的な参考資料として役立つようまとめたものである。

なお、この冊子の作成に当たっては、次の点に留意した。

(1) 公正確保

教科書編集趣意書以外の資料等を排除するとともに、調査員自身の主観的、独善的な見解を避け、事実に基づいて公正かつ客観的な資料となるよう調査研究に努めた。また、所見の記述に当たっては、常にその根拠となる事例を明らかにするようにした。

(2) 調査研究の充実

「中学校調査員の調査実施項目」（平成30年5月1日付け教委第05-19号）を調査研究の「観点」として設定し、分析をすすめた。また、分析結果については原則2ページとした。

2 調査結果のまとめ

(1) 調査結果のまとめに当たっては、調査研究の観点のそれぞれについて着眼点を定め、教科書1点ごとの特色を観点番号順に記述した。

(2) 記載の順序は、発行者番号の順とした。

(目次)

平成31年度使用中学校道徳教科書の発行者一覧

発行者番号	発行者名	略称	ページ
2	東京書籍	東書	2
11	学校図書	学図	4
17	教育出版	教出	6
38	光村図書出版	光村	8
116	日本文教出版	日文	10
224	学研教育 みらい	学研	12
232	廣濟堂 あかつき	廣あかつき	14
233	日本教科書	日科	16

(1) 特別の教科 道徳

観 点	着 眼 点
1 取扱内容	(1) 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成する上において、より適切かつ効果的であるか。
2 内容の選択及び扱い	(1) 生徒の生活経験及び興味・関心に対する配慮がなされているか。 (2) 他教科等との関連が必要に応じて考慮されており、生徒の実態に沿ったものであるか。 (3) 人間尊重の精神にかなうものであり、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであるか。 (4) 生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするようなものが必要に応じて選ばれているか。 (5) 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであるか。 (6) 地域の実態等に照らして、学習できるよう配慮されているか。
3 内容の程度	(1) 内容の程度は、生徒の発達段階や特性を考慮しており、ねらいを達成するのにふさわしいものであるか。
4 内容の構成及び配列	(1) 内容の系統性に配慮し、学習指導上、より適切かつ効果的であるか。 (2) 文章、さし絵、図表、写真、用語などは学習指導上、より適切な表記や配列になっているか。
5 創意工夫	(1) 道徳科の目標とする道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する上に、適切な創意工夫が認められるか。 (2) 内容の精選が十分なされており、考える活動を促す問いや、生徒が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう創意工夫が認められるか。 (3) 選択、扱い、構成、配列、表現などに適切な創意工夫が認められるか。
6 使用上の便宜	(1) 判型、分冊、印刷、製本などは、学習指導上、より適切であるか。 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体などは、学習指導上、より適切であるか。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	新しい道徳	2 東 書

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深められるよう構成されている。
- 生き方についての考えを深めるために、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるよう配慮されている。

2 内容の選択及び扱い

- 生徒作文を取り上げ、生徒の生活実態や体験活動に合わせた学習ができるよう配慮されている。
 - 〔例〕 1年「楽寿号に乗って」(P38～41) 2年「なみだ」(P74～77)
 - 3年「私を支えてくれた言葉」(P58～61)
- 各教科等と関連する教材を積極的に取り上げ、関連する教科のマークが、教材の冒頭に配置されている。
 - 〔例〕 1年「火の島」(P112右下) 2年「渡良瀬川の鉱毒」(P46右下)
 - 3年「高く遠い夢」(P90右下)
- 個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培うために、適切な教材が各学年に配置されている。
 - 〔例〕 1年「自分の性格が大嫌い！」(P20～23) 2年「私は十四歳」(P52～55)
 - 3年「ぼくにもこんな『よいところ』がある」(P35～39)
- 喫緊の課題であるいじめやいのちについて、それぞれの複数教材を組み合わせたユニットが各学年に配置され、重点的に扱えるよう工夫されている。
 - 〔例〕 いじめ 1年「いじめのない世界へ(1)(2)」(P24～34)
 - いのち 1年「いのちを考える(1)(2)」(P56～65)
- 人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物が教材として取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「決断！骨髄バンク移植第一号」(P59～63)
 - 2年「赤土の中の真実」(P102～105)
 - 3年「背番号15が歩んだ道－黒田博樹」(P10～15)
- 防災、キャリア教育、医療、環境、人権、国際理解、児童労働など、様々なテーマを設定して考えさせる教材が多数配置されている。
 - 〔例〕 1年「『どうせ無理』という言葉に負けない」(P86～89)
 - 2年「田老の生徒が伝えたもの」(P70～73)
 - 3年「その子の世界、私の世界」(P144～151)
- 各学年とも、情報モラルに関する教材が配置され、SNSでのいじめなど情報モラルの問題が取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」(P52～55)
 - 2年「ゴール」(P32～35) 3年「合格通知」(P106～109)
- 地域社会を扱った教材が配置され、各都道府県の伝統・文化などが紹介されている。
 - 〔例〕 1年「郷土を彫る」(P108～111) 2年「祭りの夜」(P56～60)
 - 3年「島唄の心を伝えたい」(P20～23)

3 内容の程度

- 各学年、本編で35単位時間分の教材が設定されている。更に付録で5教材が設定されており、学校の実態に合わせて柔軟に学習できるよう配慮されている。
- 発達段階に応じた環境問題や情報モラル、生命倫理、持続可能な社会の形成等についての題材が扱われている。

4 内容の構成及び配列

- 学習指導要領が示す目標が達成されるよう、教材が適切に構成・配列されている。
- 1つの内容項目が3学年で系統的に配置され、学年を追ってより高度な内容を扱い、生徒がより深く考えられるように配慮されている。
- 2時間扱いの問題解決的な学習が配置され、問題提起から解決を図る流れの中で、道徳的な価値について考えることができるよう配慮されている。
〔例〕 1年「その人が本当に望んでいること」(P96～102)
2年「人間の強さ・気高さ」(P116～121)
- 各学年とも、オリエンテーション、本編、付録の3つで構成されており、初めにオリエンテーションで道徳の基本的な流れを学習し、本編にスムーズに入れるよう配慮されている。また、付録で補充が図れるよう配慮されている。

5 創意工夫

- 各教材の「考えてみよう！」では、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる設問が用意され、教材ごとに道徳性が養われるよう配慮されている。
- 学期や学年単位で学習を振り返ることができるよう、各教材に「つぶやき」欄が設置され、考えたり思ったりしたことを生徒が書き込めるよう工夫されている。
- 中学生にとって難しい表現は避けて、分かりやすい表現が用いられている。また、各学年で漫画教材が取り上げられ、中学生に親しみやすい口語体で教材を読み進めることができるよう配慮されている。
〔例〕 2年「あの子のランドセル」(P26～29)
- 役割演技や、体験的な学習を通して議論する教材が取り上げられ、学習のねらいを更に深めやすいよう工夫されている。
〔例〕 3年「缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう」(P88～89)
- 全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起してから教材に入れるよう配慮されている。また、漫画の1～2コマが資料に使われている教材は、導入の問題提起のための話し合い活動がより活発になるよう工夫されている。
〔例〕 1年「友達とともに」(P70右側)
- 各学年とも、巻末に切り取り式のホワイトボード用紙と心情円が用意され、話し合いの活動の際に活用できるよう配慮されている。

6 使用上の便宜

- 軽量で丈夫な用紙が用いられており、比較的幅の広いA B判であるが、重量的な負担が軽減されている。
- 色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色や表現方法が採用されており、読みやすいような一般的な書体よりも少し太いフォントが用いられている。
- 製本は強力な接着剤が用いられ、大きく紙面を開くことができるよう配慮されている。
- 設問や学習のヒントでは、文節の区切りで改行し、文意を捉えやすくするよう配慮されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	輝け 未来	1 1 学 図

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、生徒が課題意識をもち、多面的・多角的に考えが深められるよう構成されている。
- 「考え、議論する」ことを通して多様性社会に向かう資質・能力が育めるよう配慮されている。

2 内容の選択及び扱い

- 道徳的価値に迫るため、題材・話題に、様々な分野や人物を取り上げた多様な教材が選定されている。
 - 〔例〕 1年「願いのバトン」(P84～90) 2年「台風の島に生きる」(P90～95)
 - 3年「平和への架け橋」(P196～203)
- 各教科の学習や、学校生活における部活動や行事と関連付けながら、その中にある道徳的価値を認識し、考えを深めていくことができる教材が取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「合唱コンクール」(P116～120) 2年「茂の悩み」(P96～100)
 - 3年「うるわしき伝統」(P84～86)
- 道徳学習の基盤となる人間関係の形成のために、各学年の冒頭に「学級づくり」のページが配置され、生徒同士の信頼関係、人間関係を醸成するための工夫がされている。
 - 〔例〕 1年「聞こう・話そう さいころトーク」(P4～5)
 - 2年「プラス思考でアドバイス」(P4～5)
 - 3年「キミの悩みは私の悩み」(P4～5)
- 全学年に、いじめの問題点に正対して取り組むことを考える直接教材と、いじめに転じかねない日常の在り方について注目する間接教材の二種類が用意されている。
 - 〔例〕 直接教材 3年「僕たちがしたこと」(P150～153)
 - 間接教材 3年「鏡の中の私」(P100～107)
- 内容項目ごとに道徳的価値の理解を深めたり、物事を多面的・多角的に考えたりする「心の扉」が設けられている。
 - 〔例〕 1年「礼儀の意義と、そのあり方」(P155)
- 全ての教材において、「道徳的価値の理解(知識・技能)」「物事を広い視野から多面的・多角的に考える(思考力、判断力、表現力)」「人間としての生き方についての考えを深める(学びに向かう力・人間性)」の三要素が学びのプロセスとして配されている。
- 各学年とも、情報機器を媒体として相手に接したり、情報を活用したりすることの道徳的価値について深く考える教材が取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「博史のブログ」(P20～24) 2年「ネット将棋」(P84～89)
 - 3年「誰が本当の作者？」(P12～15)
- 「郷土」や「日本」という2つの視点から伝統と文化が取り上げられ、これらについて自分自身としての在り方や自分にできることを深く考えるよう配慮されている。
 - 〔例〕 1年「飛騨の匠の造った家」(P132～139)
 - 2年「脈々と受け継がれる錦帯橋」(P52～58)
 - 3年「北限の稲作に挑む」(P94～98)

3 内容の程度

- 小学校で培ってきた道徳的な価値観への理解や考えを、より深めまた高めていくことを念頭に、発達段階の系統を考えながら教材が選定されている。
- 各学年とも、内容項目ごとに「心の扉」が設けられ、生徒の道徳的価値理解のための視点が明確に示されている。

4 内容の構成及び配列

- 内容項目によっては、複数教材が設置され、重点化が図られるよう配慮されている。
〔例〕社会参画 1年「アルミ缶回収」(P162～167) 「小さな一歩」(P178～182)
- 各学年とも、長期休業を区切りとする3つの時期に分け、各時期に4つの視点がそれぞれバランスよく学べるよう配慮されている。
- 教材媒体については、漫画、新聞、図表などが使用され、その他にも、詩や写真、伝記などの表現方法が用いられている。
〔例〕新聞 1年「災害に備える」(P122～125)
漫画 2年「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」(P26～30)
- 各学年とも、冒頭に「道徳の学習をはじめよう！」を置き、考えを深めていくための手立てが示されている。
〔例〕全学年「道徳の学習をはじめよう！」(P2～3)

5 創意工夫

- 各学年とも、長期休業を区切りとする3つの各時期に、生徒が学びを振り返るための書き込みをするページが設けられている。また、各学年末には、1年間の学習を振り返り、これからの自分を考えるページも設けられている。
- 教材の最後には、発問のコーナー「学びに向かうために」が設置され、課題を発見し主体的な学びを導く、基本の発問(課題に注目する問いかけ)→中心の発問(道徳的価値に最も迫る問いかけ)→後段の発問(これからに生かす問いかけ)が提示されている。
- 問題解決的な学習、体験的な学習を、発問のコーナー「学びに向かうために」の中に取り入れ、役割演技なども取り入れられている。
〔例〕体験的な学習 1年「銀色のシャープペンシル」(P190～195)
問題解決的な学習 2年「傍観者でいいのか」(P44～46)
- 教材にある発問だけでなく、深く考えさせたい重要な現代的課題などが10種類のマークで示されている。
- 様々な地域の題材や人物を取り上げ、教材が構成されている。
〔例〕3年「真珠の養殖を成し遂げた 御木本幸吉」(P154～160)
- 各学年とも、授業においてどのようなことに対する考えを深めようとしているかが、巻末で保護者に向けて解説されており、家庭との連携が図れるよう工夫されている。

6 使用上の便宜

- 比較的幅の広いA B判が採用され、読みやすいように一般的な書体よりも少し太いフォントが用いられている。
- 色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色や表現方法が採用されている。
- 中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはルビが付けられており、読みの負担が軽減されている。
- 環境に配慮した用紙と植物性インキが用いられている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	とびだそう未来へ	17 教 出

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める上で、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むのに適切かつ効果的な内容となっている。
- 「考え、議論する」ことに適した多様な教材を用いて人間としての生き方についての考えを深め、主体的に物事を判断し、自立した人間として成長していくために効果的な内容となっている。

2 内容の選択及び扱い

- 生徒が興味・関心をもてる教材、切実に感じられる教材を多く取り上げ、登場人物に自己投影することを通して、道徳的諸価値の理解を深めるよう配慮されている。
〔例〕 2年「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」(P108～111)
- いじめや差別について考える教材を系統的に配置している。生徒の生活実態、発達段階に
応じて、いじめや差別の問題を自分のこととしてとらえ、考えられるよう配慮されている。
〔例〕 2年「最優秀」(P94～97) 3年「卒業文集最後の二行」(P72～77)
- 今日の社会をつくりあげてきた人々の思いや努力、道を切り拓いてきた人々の生き方や考
え方に学び、自分自身を高め続けようとする意欲が培われるよう配慮されている。
〔例〕 1年「『どうせ無理』をなくしたい」(P32～37)
- 道徳教育において長く読み継がれてきた教材を取り上げ、内面的価値の自覚を促す指導を
展開できるよう配慮されている。
〔例〕 1年「二度と通らない旅人」(P130～137)
2年「六千人の命のビザ」(P78～85)
- 生命倫理や情報モラル、社会参画などの現代的な課題を取り上げ、よりよい選択・判断を
していく力を養えるよう配慮されている。
〔例〕 1年「選ぶということ」(P68～71) 2年「本当の友達って」(P122～127) など
- 問題解決的な学習に適した教材が取り上げられ、生徒自身の考えやその根拠を問い、どう
あるべきか多面的・多角的に考えを深めていくことができるよう配慮されている。
〔例〕 1年「自分で決める」(P28～31) 3年「サルも人も愛した写真家」(P78～81) など
- 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛する態度を地域や学校の実態に合わせ
て指導できるよう配慮されている。
〔例〕 2年「伝えるということ」(P38～41) 3年「昇き縄(かきなわ)」(P40～45)

3 内容の程度

- 答えが1つではない課題や解決が難しい課題に向き合い、よりよい選択・判断をしていけ
るよう配慮されている。
- 生徒が無理なく学習できるよう教材内容が精選され、発達段階に即した内容と文章量で構
成されている。コラムなどは極力つけないことで、学習内容を焦点化し、主体的・対話的で
深い学びのために、考え、議論する時間が確保できるよう配慮されている。

4 内容の構成及び配列

- 各学年の発達段階に配慮し、学習指導要領で示されている4つの視点の内容が、学期ごとに偏りがなく、バランスよく配置されている。
- 役割演技を取り入れたり、日々の体験を想起して話し合ったりすることを通して、道徳的諸価値の理解を日常の生活での道徳的行為や習慣につなげられるよう配慮されている。
〔例〕2年「譲る気持ちはあるのに……」(P56～59)
- 学校行事や、他教科・特別活動などとの連携が図りやすい教材配列がされ、学校の実態に応じたカリキュラム・マネジメントに対応しやすいよう配慮されている。
〔例〕1年「伝えたい味」(P126～129) 3年「平和への願い」(P20～23)
- 学習時期と教材内容の季節が一致するよう教材が配列されており、生徒が学びやすいよう工夫されている。
- 学習指導要領で示されている学習内容は、本教材30本で充足され、地域教材などの多様な教材の活用は、5本の補充教材との入れ替えで容易に行えるよう工夫されている。
〔例〕3年「琵琶湖の水を京都に送る」(P158～165)

5 創意工夫

- 各教材の冒頭には導入を設け、学習のねらいにつながる問いかけがあり、教材を通して、どのようなことを考えていくのかを共有することにより議論が深まるよう工夫されている。
- 「学びの道しるべ」には、教材を手がかりに、何を、どのように考え、話し合っていくのかが示されている。「教材内容につながる問い」「自分自身に引きつけて考える問い」「道徳的諸価値の理解を深める問い」の3つの問いを連携させて、道徳的諸価値にかかわる考えを深められるよう工夫されている。
- 生徒の自己肯定感を高める教材、前向きに取り組む意欲を高める教材が取り上げられている。また、漫画や写真、歌詞、新聞記事、生徒の作文などの教材を取り上げ、生徒が話し合いに参加しやすいよう工夫されている。
〔例〕1年「『いじり』？『いじめ』？」(P38～45)
- 各学年の巻頭に、道徳びらきのページが設けられ、自分自身を見つめ、これから学ぶことへの興味や期待が高められるよう工夫されている。
- 巻末の「道徳の学びを記録しよう」のページを活用することで、自分自身の学びをふり返り、将来の自分のすがたについて、希望や意欲を持って進んでいけるよう工夫されている。
- 全学年の巻末に折込資料「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」では、各県1人ずつ、身近な地域の人物や、様々な分野で活躍した人々の言葉を取り上げ、自分のこれからの生き方について考えを広げていくことができるよう工夫されている。

6 使用上の便宜

- 比較的小さなB5判であり、持ち運びしやすいよう配慮されている。書体は、明朝体に改良を加えた読みやすいものを使用しており、発達段階に応じた大きさの文字を使用している。第1学年の前半部分の教材本文は、他の教材より大きい文字を使用し読みやすくしている。
- 生徒の発達段階を考え、その学年において理解が難しいと思われる言葉については、教材の読み取りのための解説が脚注として示されている。
- 学習指導要領で示されている4つの視点に沿って教材を色分けし、判別しやすくしている。
- 色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色や表現方法が採用されている。また、文章の改行位置を工夫することで、文章構成がつかみやすく、内容理解をしやすくしている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	きみが いちばん ひかるとき	38 光村

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、一人一人が自ら考え、ともに学び合い、よりよく生きる力を育む上で効果的な内容となっている。
- 価値観の多様性を受け入れる豊かな道徳性を育むために、物事を多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。

2 内容の選択及び扱い

- 生徒と同じ年頃の登場人物、伝記等で知られる先人、各界で活躍した人物が、悩んだり失敗や葛藤を乗り越えたりする姿など、生徒の心を捉える教材が取り上げられている。
〔例〕 2年「雪に耐えて梅花麗し」(P34～39)
- 他教科等と関連する教材を取り上げ、学校教育全体を通じて道徳教育を行えるよう工夫されている。
〔例〕 1年「いちばん高い値段の絵」(P32～37) 2年「箱根駅伝に挑む」(P168～172)
3年「先人の言葉 —『論語』」(P126～129)
- 教材ごとに用意された「てびき」の「つなげよう」では、他教科等との関連や関連する他の教材の紹介が示されており、さらに深く考えたり行動につなげたりできるよう工夫されている。
- さまざまな内容項目からいじめ問題の解決に結びつく教材とコラムを取り上げ、いじめをしない、させない、見過ごさない姿勢が系統的に育成できるよう工夫されている。
〔例〕 1年「いじめが生まれるとき」(P64～65)
2年「『いじめ』と『いじり』」(P68～69)
3年「自分たちにできること」(P58～59)
- 全学年とも、情報モラルの内容を扱ったコラムが読みもの教材と組み合わせて提示され、道徳科の特質を踏まえた上で、情報モラルについて深く考えられるよう工夫されている。
〔例〕 1年「ネットの書き込み、大丈夫？」(P86～87)
2年「ネット依存について考えよう」(P18～19)
- 絵本や漫画形式の教材、データや複数の資料から考える教材などが取り上げられ、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。
- 教材やさし絵に登場する人物や執筆者については性別に偏りがないようにし、人種・身体的特徴などについても、人権に配慮した記述となっている。
- 全学年とも、日本の郷土や文化を慈しみ、地域の伝統文化を大切にする心を育むために、さまざまな地域の題材や伝統文化を取り扱った教材および付録が掲載されている。また、自分とは関わりの少ない地域の事例でも、自分の地域につなげられるよう工夫されている。
〔例〕 1年「なおしもん」(P123～127) 2年「日本各地の世界遺産」(P216～217)
3年「障子あかり」(P115～119)

3 内容の程度

- 全学年とも、発達段階に合わせて、誕生の喜びや臓器移植、尊厳死など、様々な観点から命について学びが深められるよう工夫されている。
〔例〕 2年「命が生まれるそのときに」(P25～29) 3年「命の選択」(P138～142)

- 各学年の付録「学びの広場」に、小学校の道徳の教材を収録し、中学生に成長した今の考えを改めて語り合うことで、深い学びにつなげることができるよう工夫されている。

〔例〕 1年「橋の上のおおかみ」(P212～215) 2年「泣いた赤おに」(P210～215)

4 内容の構成及び配列

- 各学年とも巻頭・とびら詩に、書きおろしの詩を掲載し、物語のように詩の主人公と共に成長していく構成となっている。
- 学校生活の実態と、それに伴う生徒の成長を考慮して、年間の学習を4つのシーズン(まとまり)に分けてある。シーズンの始まりには、とびらページを設け、生徒が新たな気持ちで学習に入っていけるよう配慮されている。

- 各学年とも、シーズン1の終わりにコラム「人と人との関係づくり」が配されており、人とよりよい関係を築くためのコツが身につけられるよう工夫されている。

〔例〕 1年「友達とよい関係を築くには」(P38～40)

2年「大人と接するときに」(P40～42)

3年「自分も相手も大切に」(P40～42)

- 各学年とも、生命の尊さに関する教材を系統立てて取り上げ、全学年を通して、生命を大切にすることを育めるよう工夫されている。

〔例〕 1年「ひまわり」(P22～26) 2年「つながる命」(P70～72)

- 各学年とも、それぞれにテーマが設けられ、作者と問答ができるよう漫画のページを設け、考えることが楽しめるよう工夫されている。

〔例〕 1年「なんだろう なんだろう 『正義』って、なんだろう。」(P128～129)

2年「なんだろう なんだろう 『ゆるす』って、なんだろう。」(P114～115)

3年「なんだろう なんだろう 『自立』って、なんだろう。」(P130～131)

5 創意工夫

- 作者の描きおろしの絵を取り入れたり、写真を紙面に大きく掲載したりするなど、生徒の感性に訴えるよう工夫されている。

〔例〕 3年「サグラダ・ファミリア —受け継がれていく思い」(P120～125)

- 道徳の目標に迫る学習活動となるよう「道徳的問題を明らかにする問い」「道徳的価値について考えを深める問い」「自分に引き付ける問い」の3つの問いが構成されている。

- 教材ごとに、授業で学んだことや感じたこと、考えたことを書き留められる「私の気づき」の欄が設けられ、授業を振り返り、自身の変容を実感することができるよう工夫されている。

- 巻末に「学びの記録」があり、教材ごとに書き留めてきた「私の気づき」を見返しながら、生徒が自分の学びの変化や成長について振り返り、記録できるよう工夫されている。

- 生徒の自己評価を通して、教師が生徒の成長を長期的に見取ったり、評価の材料として活用したりできるよう工夫されている。

- 各学年とも、付録として、現在、様々な分野で活躍している人物からの、生徒に向けた直筆メッセージが掲載されている。

6 使用上の便宜

- 比較的小さなB5判であり、持ち運びしやすいよう配慮されている。

- 中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはルビが付けられており、読みの負担が軽減されている。

- 本文は原則として、書き文字への配慮を施した明朝体活字が用いられており、判別しやすい配色や表現方法が採用されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	あすを生きる・ノート	116 日 文

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、物事を多面的・多角的に捉え、豊かな情操、伝統・文化を大切に作る心、自己を見つめ社会を創造する豊かで広い公共の精神を育むため、多様な教材と構成が適切かつ効果的な内容となっている。
- 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要として役割を果たすことができるよう、発達段階を踏まえ、身近な事例を選定し、系統的・発展的に学習できる教材が取り上げられている。

2 内容の選択及び扱い

- 生徒が主体的に取り組めるよう、発達の段階などを踏まえて身近な教材を選定し、いじめ、安全、情報モラル、キャリア教育などのテーマ教材が適切な時期に設定されている。
- いじめの問題に関しては、未然防止のために、いじめを直接的・間接的に扱った教材・コラムを取り上げ、いじめを許さない心を育て、すべての生徒が自分たちの問題として多面的・多角的に考えられるよう意識されている。
 - 〔例〕 1年「『いじめ』と向き合う」(P28) 「さかなのなみだ」(P30～33)
 - 2年「五月の風—カナ—」「五月の風—ミカ—」(P32～39)
- 現代的課題である情報モラルについては、生徒の身近で起こりうる題材が取り上げられ、興味・関心が持ちやすいよう配慮されている。また、複数の内容項目で扱われている。
 - 〔例〕 1年「使っても大丈夫？」(P92～95)
 - 2年「そんなつもりじゃなかったのに……」(P70～71)
 - 3年「ある朝のできごと」(P88～89)
- 生命の尊さを重んじ、教材に加えコラムでも扱い、理科や保健体育、技術・家庭などの他教科と関連する題材が取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「あなたはすごい力で生まれてきた」(P50～52) 「あふれる愛」(P106～109)
 - 3年「命のトランジットビザ」(P62～65) 「臓器ドナー」(P96～99)
- スポーツ、科学、オリンピック・パラリンピック、歴史など様々な分野から人物教材を取り上げ、知恵や勇気、苦悩や努力、夢などを知ることで、生きることの魅力や意味の深さ、誇りある生き方について考えられるよう配慮されている。
 - 〔例〕 2年「『自分』を諦めない。立ち上がった瞬間が自信になる」(P26～29)
 - 3年「銀メダルから得たもの」(P6～9)
- 友だちや先生とより深く楽しく考え合えるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材を取り上げ、考えやすいよう配慮されている。
 - 〔例〕 1年「公平と不公平」(P98～101)
 - 2年「『自分』ってなんだろう」(P78～83)
- 課題に向き合い、未来を想像できるよう、これからの社会を担う生徒たちを取り巻く現代的な課題について、生徒が自分のこととして考え、前向きに取り組むことができるような題材が取り上げられている。
 - 〔例〕 1年「震災を乗り越えて —復活した郷土芸能—」(P130～133)
 - 3年「No Charity, but a Chance!」(P28～31)

3 内容の程度

- 生徒の発達段階を考慮しつつ、学年間のつながりも重視した教材が取り上げられている。
- よりよい生き方を考えられるよう、今を生きる人たちの、また時代を超えて伝えていきたい先人たちのさまざまな生き方が取り上げられている。
〔例〕 1年「富士山から変えていく」(P110～115)
2年「ダショー・ニシオカ」(P146～149)
- 各学年とも「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つのステップでともに学び合える内容で、友だちや先生と一緒に考え合い、豊かな対話が生まれるよう配慮されている。

4 内容の構成及び配列

- キャリア教育の理念をもとに、系統的・発展的に学習できるよう教材が配置されている。
- 巻頭に詩を配置し、学年のテーマが設定されている。
〔例〕 1年「である」 2年「みつめる」 3年「ひらく」
- 各学年とも、学ぶべきときに学ぶべきいじめ、安全、情報モラル、キャリア教育などのテーマを設定し、生徒が主体的に取り組めるよう、発達の段階を踏まえた身近な教材が取り上げられている。
〔例〕 2年「そうじの神様が教えてくれたこと」(P10～13) 「避難所にて」(P180～183)
3年「昔と今を結ぶ糸」(P22～26)
- 全学年とも、いじめと向き合い、自分たちの問題としていじめについて考え、多面的・多角的にいじめについて考えられる教材が適切な時期に配置されている。

5 創意工夫

- 学習のステップを示すことによって、迷わず学習を進められるよう工夫されている。
〔例〕 1年「あったほうがいい？」(P60)
- 1時間で無理なく実施できる体験的な活動が精選されている。
〔例〕 1年「愛情貯金をはじめませんか」(P26～27)
2年「『自分』ってなんだろう」(P82～83)
- 別冊の「道徳ノート」は、教科書本冊と同じ学習順であり、多様な話し合いに対応できるよう、罫線やマス目がなく、メモや図表などを自由に書き込めるよう工夫されている。
- いじめの未然防止のために、いじめについて議論できるよう、多様な教材とコラムがユニット化されている。
- 長年、道徳の時間で活用されてきた教材が掲載されているとともに、さし絵やレイアウトなどが工夫されている。
- 各教材のタイトル部分には、内容項目の4つの視点が色と形から見分けられるよう配慮されている。

6 使用上の便宜

- 色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色や表現方法が採用されている。
- 人間尊重の精神に基づき、登場人物の性別、人種、身体的特徴などに偏りや不適切な扱いがないよう配慮されている。
- 環境に配慮した用紙と植物性インキが用いられている。
- 比較的小さなB5判で、軽量で丈夫な用紙が用いられ、重量的な負担が軽減されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	明日への扉	224 学 研

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習が可能な教材を取り上げ、道徳的諸価値について多面的・多角的に学ぶ上で適切かつ効果的な内容となっている。
- よりよく生きるための基盤として道徳性の育成が行えるよう、道徳的諸価値をもとに、内容の明確化、体系化、現代化が図られている。

2 内容の選択及び扱い

- すべての読み物が見開きで始まり、さし絵や写真、グラフなどが適所に配置され、生徒が興味・関心をもって学習に取り組み、理解を深められるよう配慮されている。
〔例〕 1年「自然の懐に抱かれて」(P122～124) 2年「償い」(P148～151)
- 巻末に他の教科等の学習との関連を示し、様々な道徳的価値の視点で他の教科等の学習と関連を図り、幅広い視野で学習を深められるよう配慮されている。
〔例〕 3年「正確な日本地図の追究 伊能忠敬」(P140～144)
- 自立した一人の人間として、他者と共によりよく生きるために、各学年ともいじめに関する特設ページが設けられ、様々な観点からいじめについて考えられるよう配慮されている。
〔例〕 3年「クローズアップ 広い海へ出てみよう」(P130～131)
- 様々な内容項目を通して命について考える機会が設けられ、各学年とも、生命の尊さに関する教材が用意されている。自らの命および自らの命に関わる他者の命、それらを支える様々な命の尊さについて思いを寄せることができるよう配慮されている。
〔例〕 1年「たとえ僕に明日はなくとも」(P96～100)
- 物事を多面的・多角的に考え、議論することができるよう、異なる複数の意見の提示や、関連情報が提供されている。「地球と地域の未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」という観点で、複数教材を関連させ、多様な展開で学びを深められるよう配慮されている。
〔例〕 2年「蹴り続けたボール」(P50～52) 「ジャッジとチャレンジ」(P54～57)
- 主体的・対話的で深い学びの実現のために、答えが1つではない多様な見方や考え方の中で、生徒が自ら問題意識をもって多面的・多角的に深く考え、話し合い、人間として生きる喜びや夢や希望を抱くことができる教材が取り上げられている。
〔例〕 1年「キャッチ アンド リリース」(P82～85)
3年「答えは1つだけじゃない」(P53)
- オリンピック・パラリンピックに関連する人や題材が取り上げられており、生き方から学ぶことができるよう、様々な分野で活躍している人々や功績を残した先人が紹介されている。
〔例〕 1年「真の国際人 嘉納治五郎」(P66～70)
2年「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」(P10～13)
3年「スポーツの力 佐藤真海」(P160～164)
- 情報モラルや、科学技術の発展と生命倫理との関係や、社会の持続可能な発展などの現代的課題、社会参画に関する事など様々な課題や問題について取り上げられている。
〔例〕 1年「日曜日の朝に」(P88～89) 2年「コスモスR計画」(P30～32)

3 内容の程度

- 中学校3年間の発達の段階や特性を考慮するとともに、小学校高学年からの接続や、高等学校等における人間としての在り方や生き方についての考えを深める学習への見通しが考慮されている。
- 主体的・対話的で深い学びが実現されるよう、生徒が読みたくなる、考えたくなる、話し合いたくなるような工夫がされている。

4 内容の構成及び配列

- 生徒の発達の段階に応じて、学びの過程が質的に高まる構成になっている。
- 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に一年間の学びを振り返るページがあるなど、教科書1冊を通して、ストーリー性のある配列を施すことにより、効果的なカリキュラムマネジメントが可能になっている。
- 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に学びを振り返るページがあり、一年間の自分の成長を感じられるよう工夫され、主体性や自尊感情を高められるよう構成されている。
- 特設ページ「深めよう」では、役割演技やペア・グループでの話し合いを取り入れ、より効果的な学習となるよう、問題解決的な学習の道筋が提示されている。
〔例〕 1年「二つの心の対話を演じてみよう」(P37)
- 生きる上での考え方の選択肢を増やすために「クローズアップ」が、視点や内容項目の異なる関連情報によりさらに視野を広げるために「クローズアップ プラス」が、すべての内容項目の教材に特設ページとして設けられている。
〔例〕 2年「誰もがスポーツを楽しめる社会に」(P58～59)
3年「見付けよう 新しい『ジブン』」(P13)

5 創意工夫

- 道徳での学びについて紹介し、「何を学ぶのか・どのように学ぶのか・何ができるようになるのか」を明確にし、主体的に、見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。
- 4つの視点による色分けが明示され、見通しをもって学習できるよう工夫されている。
- 道徳の学習の全体がつかめるように視点及び内容項目ごとに教材をまとめたり、重要なテーマごとに教材をまとめたりして、道徳性を養うための様々な工夫がされている。
- 主題名をあえて教材中に記載しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にして主体的に学べるよう工夫されている。
〔例〕 1年「掃除の神様が教えてくれたこと」(P10～14)
- 話し合いや記述など、言語活動が多く取り入れられている。記述欄は十分なスペースが設けられ、教科書の中で教材に即して学習の振り返りができるよう工夫されている。
〔例〕 3年「インターネットと共に」(P40～42)
- イラスト、写真などの使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容、掲載点数ともに、生徒の発達段階に応じ十分配慮されている。
〔例〕 2年「厳かなるもの」(P138～140)

6 使用上の便宜

- 比較的大きいA4判であり、文字情報とともに視覚的情報が多く利用されている。
- 本文の記述は、できるだけ平易に、理解しやすく表現されている。また、読みやすさを考えた改行など、生徒の読解に支障をきたさないよう配慮されている。
- 色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色や表現方法が採用されており、読みやすいよう一般的な書体よりも少し太いフォントが用いられている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	自分を見つめる・ノート 自分を考える・ノート 自分をのばす・ノート	232 廣あかつき

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通じて、多面的・多角的な思考を促し、人間としての生き方についての考えを深められる構成が適切かつ効果的な内容となっている。
- 「自立心や自律性」「生命を尊重する心」「他者を思いやる心」「弱さを克服して気高く生きようとする心」を重視し、「自主、自律、自由と責任」「生命の尊重」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点項目とし、各学年とも各3時間、3教材が配当されている。

2 内容の選択及び扱い

- 道徳の時間で長年活用されてきた教材から、生徒の心を揺さぶり、より深い道徳的思考へと導く教材が取り扱われている。
〔例〕 1年「吾一と京造」(P100～105) 2年「人間であることの美しさ」(P86～87)
3年「ひまわり」(P54～60)
- 先人の伝記や様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等が取り上げられ、栄光の裏にある人知れぬ努力や苦悩する姿、幼少期の体験などから、生徒が人物を身近に感じ、人間として生きることのすばらしさを感じられるよう配慮されている。
〔例〕 2年「最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく」(P141～145)
3年「ぶれない心」(P48～52) 「母と子のロードレース」(P82～87)
- 「現代的な課題」について、生徒が身近な問題として捉え、自分との関わりで考えられる教材が多く取り上げられている。
〔例〕 1年「人に迷惑をかけなければいいのか?」(P91～95)
2年「看取りの医者」(P151～156)
- 喫緊の課題である人権・いじめに関わる問題や情報モラルに関わる問題が多数取り上げられている。発達の段階に応じてさまざまな角度から考えられるよう工夫され、特定の見方や考え方に偏らないよう配慮されている。
〔例〕 2年「君、想像したことある?」(P40～41) 3年「ピヨ子」(P64～67)
- 道徳的価値に根差した問題を生徒がを見つけ、多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合ったり、道徳的価値のよさを理解したり、発展させたりできる教材が問題解決的な学習を促す教材として取り上げられている。
〔例〕 1年「島耕作 ある朝の出来事」(P62～64)
3年「ベビーカー論争」(P124～127)
- 役割演技や動作化、追体験など、道徳的行為に関する体験的な学習を通じて、道徳的価値についてより深く考えられる体験的な学習を促す教材が取り上げられている。
〔例〕 2年「加奈子の職場体験」(P77～81)
- いじめ防止、生命の尊重については、より充実した学習が図れるよう、発達の段階に応じた様々な視点から数多くの教材が取り上げられている。
〔例〕 1年「あなたはすごい力で生まれてきた」(P15～17)
2年「樹齢七千年の杉」(P13～16)
3年「卒業文集最後の二行」(P36～40)

3 内容の程度

- 「生命の尊さ」「人権・いじめ防止」に関する教材を多く取り上げ、いじめについて多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。
- 物事を多面的・多角的に捉え、豊かな情操、伝統・文化を大切にす心、自己を見つめ社会を創造する豊かで広い公共の精神を育むため、多様な教材で構成されている。

4 内容の構成及び配列

- 道徳科の特質を生かし、生徒の発達段階や、他の教育活動などとの関連を踏まえ、いじめや安全などのテーマを設定して教材を配列することにより、学習の必然性をもたせている。
- 各教材の最後に「考える・話し合う」を配置し、生徒の主體的・対話的で深い学びを促すための手がかりとなる内容が、様々な観点から示されている。
- 情報モラルなどの現代的な課題に関する題材等、学習指導要領に記載されているすべての題材について、漏れなく全学年で設定されている。
- 学年が進むに従って、道徳的価値を見出し、その大切さに気づく段階から、価値そのものを深く考え、哲学的に思索する段階へと学習を深めていけるよう、教材の選定や「学習の手がかり」の表記が工夫されている。

5 創意工夫

- 生徒が自ら考え、主体的に学習できるよう、めあてを示している。
- 生徒の対話を促し、多面的・多角的に考えられる問いが設定されている。
- 本冊で多様な感じ方や考え方に接する中で考えを深められるよう、話し合いを促す「考える・話し合う」を設置し、別冊ノートでは、書くこと、読み返すことを通じてより深く考え、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。
- 各教材の最後に学習する、内容項目に沿った名言、先人や現代に活躍する人々の一言が、生徒の価値理解を深められるよう取り入れられている。
- 書くことを通じて自問、内省へと導き、道徳的思考をいっそう深め、道徳的価値の理解を確かなものにするよう工夫されている。
〔例〕道徳ノートの内容項目の解説と問い、自己評価・学習の記録欄
- 生徒が考えたくなるよう教材、問いが工夫され、特定の価値の押しつけにならないよう配慮されている。
- 別冊ノートの巻末に折り込みとして、自己評価や自己の振り返りに活用ができる「心のしおり」を用意し、自己の心の状態や成長を実感したり、課題を見つけたりすることができるよう工夫されている。

6 使用上の便宜

- 本冊、別冊ノートともに比較的幅の広いA B判が採用され、読みやすいように一般的な書体よりも少し太いフォントが用いられている。
- 本冊、別冊ノートともに環境に配慮した用紙と植物性インキが用いられ、本冊は発色の良さ、見やすさを重視した再生紙、別冊は書きやすさ、消しやすさを重視した再生紙を使用している。
- 中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはルビが付けられており、読みの負担が軽減されている。
- 色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで、必要な情報が読み取れるよう配慮されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
道 徳	生き方から学ぶ 生き方を見つめる 生き方を創造する	233 日 科

1 取扱内容

- 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める道徳科の目標を達成するために、多様な意見とふれ合い、価値観を再構築し学び合う上で効果的な内容となっている。
- 価値観の多様性をしっかりと受け入れる寛容な心を育むために、物事の多面的・多角的な考え方を身につけられるよう配慮されている。

2 内容の選択及び扱い

- 身近な事例において、家族や友だち、学校や社会といった様々な視点から考えを深めることができるよう工夫されている。
- 多様な他者とのコミュニケーションを大切にし、自分と異なる意見や考えにふれ、新たな発見や気づきにつながるよう配慮されている。
〔例〕 1年「町内会デビュー」(P108～113) 2年「ロックンローラー」(P98～102)
- 社会科(公民的分野)の社会参画や社会連帯のあり方、公共の精神の学習に対応して、社会の一員であることの意味や働くことの意義を考えられるよう配慮されている。
〔例〕 1年「仕事と心」(P120～124) 2年「秀明の初ボランティア」(P104～107)
- 特別活動における「一人一人のキャリア形成と自己実現」との関連を意図した内容となっており、1年生では、自己を見つめ、自己の個性、能力、適性等について教材の主人公を通して、2年生では自己啓発をテーマに、3年生では自己実現に向けて、現代社会に想定される葛藤をともし道徳的問題に向き合えるよう配慮されている。
- 郷土の伝統と文化を学ぶことから、地域に尽くしてきた人たちへの感謝の気持ちと郷土に対する誇りをもち、自らが主体的に郷土の発展のために取り組む心を育むことができるよう工夫されている。
〔例〕 1年「雄司の自慢」(P144～146) 3年「小泉八雲が見た出雲の国」(P134～137)
- いじめを許さない心を育むために、生命とは何か、その貴さを守るためにはどのように考えればよいかなど、生命尊重への学びをより深めるための教材が取り上げられている。〔例〕 1年「誰かのために」(P166～168) 3年「いのちの絆」(P160～163)
- 自己の判断の基準となる道徳的価値観を形成するために道徳的価値を含む様々な問題に向き合い、考える経験を重ねていけるよう配慮されている。
- ネット社会の中で生きていく上で大切な、情報モラルを守る態度を身につけられるよう配慮されている。
〔例〕 1年「グループ」(P98～102) 2年「言葉の向こうに」(P74～78)

3 内容の程度

- 発達段階に応じて、答えが1つではない道徳的な課題について、一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、「考え、議論する」ことができるよう工夫されている。
〔例〕 2年「あなたが見えているもの」(P70～73)
3年「席を譲ってはいけないのですか」(P74～77)
- 中学1年生という発達段階を考慮して、自分自身と向き合うワークシート(P84～85)を使い、個性・能力・適性等の自己理解をし、努力目標を設定するよう工夫されている。

4 内容の構成及び配列

- 発達の段階を考慮し、学年間のつながりを重視した教材を取り上げ、主人公の直面する悩みや葛藤を、自分の友だちのように共有し、道徳的問題として考えられるよう工夫されている。
〔例〕 1年「リョウとマキ～First Love～」 (P60～65)
2年「リョウとマキ～Triangle Zone～」 (P48～53)
3年「リョウとマキ～Stand by Me～」 (P68～73)
- 道徳的価値を基盤とし、キャリア教育の視点からキャリア発達の段階の連続性と系統性を意図した教材が配置されている。
〔例〕 1年「パーソナリティー」 (P21～25) 2年「ワン・ステップ」 (P25～28)
3年「ライフ・ロール」 (P100～104)
- 各学年とも巻頭に1編の詩を配置し、中学校3年間で学ぶことの集大成としての人の姿が伝わるよう工夫されている。
〔例〕 1年「今日からはじまる」 2年「自分をはぐくむ」 3年「どこにもない木」
- 「正義」「寛容」「人権」「人間愛」など、様々な主題の教材があり、3年間を通していじめを許さない心を育むことができるよう工夫されている。
〔例〕 1年「朝の地下鉄」 (P42～43) 2年「人は違う。それでいい。」 (P69)
3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」 (P88～91)
- 学習指導要領の内容項目順に教材が配置されている。「自分自身と向き合う」「人とのかかわり」「集団や社会とのかかわり」「自然や崇高なものとのかかわり」の4章立てとなっており、各地域、各学校の特色や方針によって各教材を生かせるよう配慮されている。

5 創意工夫

- 表紙の上段には過去から現在まで受け継いできた伝統や文化の写真を、下段には現在から未来へとつながる新しい技術の写真を掲載している。
- 各学年の初めに「道徳って何を学ぶの？」が設けられ、学習指導要領の内容と「考え、議論する道徳」について確認し、基本的な内容が生徒に理解できるよう工夫されている。
- 各教材のタイトル部分には、番号が記載されており、学習指導要領の内容項目の番号と対応している。
- 価値の多様性を受け入れる寛容な心を育む項目では、ワークシート方式を取り入れ、考えと議論を深められるよう工夫されている。
〔例〕 1年「二つの足跡」 (P70～71) 3年「礼儀はなぜ必要なのか」 (P56～57)
- 各教材の最後に、授業の流れを想定した「問い」を配置し、生徒の自主的な発言や議論を促すよう工夫されている。
- 巻末に振り返りのワークシートがあり、「道徳科」で1年間育んできたことを、あらためて客観的に確認し、次の学年に向けての目標を立てることができるよう工夫されている。

6 使用上の便宜

- 発達段階を考慮し、脚注では、難解な言葉や必要な情報が分かりやすい言葉で解説されている。
- 目次や巻末の学習指導要領対応表は4つの視点で色分けされており、学習のねらいが分かりやすいよう工夫されている。
- 比較的小さなB5判であるが、さし絵や資料、写真等が大きく扱われ、学習がより深まるよう配慮されている。
〔例〕 3年「プラットホームでのできごと」 (P96～98)

報告 2

訴えの提起に係る専決処分について

三重県高等学校等修学奨学金返還金の滞納に関し、知事が支払督促に係る訴えの提起の専決処分を行ったことを、別紙のとおり平成30年三重県議会定例会9月定例会月会議へ報告するので、報告する。

平成30年7月27日提出

三重県教育委員会事務局
教育財務課長

QUESTION

1. The following table shows the number of people who attended the school sports day in the year 2000. The number of people who attended the school sports day in the year 2001 is given in the table below.

Year 2000

Year 2001

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

平成 年月 日

三重県知事 鈴木 英 敬

訴えの提起（和解を含む。）について

県は、次の者を相手として三重県高等学校等修学奨学金返還金の滞納に関し、支払督促に係る訴えの提起（和解を含む。）を行った。

区分	住所	氏名	専決年月日
教育委員会	津市島崎町137番地41	(連帯保証人) 山本 幸信	平成30年3月19日

訴えの提起に係る専決処分について

県は、次の者を相手として三重県高等学校等修学奨学金返還金の滞納に関し、支払督促に係る訴えの提起を行いました。

1 経緯

三重県高等学校等修学奨学金返還金の貸付対象者の滞納に伴い、三重県教育委員会ではこれまで、当該対象者に対し、電話督促、文書通知、自宅訪問等を行い、納付を促してきました。

本件（別紙網掛け部分）については、返還金の一部を納付したのみで、今後の納付の連絡もなく、督促にも応じないことから、平成29年8月に知事名で最終催告を行いました。指定した期日までに入金がなかったため、民事訴訟法に基づく支払督促申立手続（※）を債務者の住所地を管轄する簡易裁判所に行いました。

当該手続は平成30年3月19日に行いましたが、同年6月2日に相手方から異議申立書が裁判所に提出されましたので、申立時に遡って訴えを提起したとみなされることとなりました。

（※）支払督促申立手続について

簡易裁判所書記官が債権者に代わって督促を行うための手続であり、地方自治法の議決を要する訴えの提起には該当しませんが、期限内に相手方から異議申立てがあった場合には、民事訴訟法の規定に基づき、申立時に遡って債権者が訴えを提起したとみなされます。【参考資料3】

2 滞納金額等について

今回異議申立てがあった者に係る滞納金額等については下記のとおりです。

氏名	貸与期間	滞納金額
(連帯保証人) 藤井梓	平成17年4月～平成20年3月	326,000円
(連帯保証人) 山本幸信		

3 今後の対応

- (1) 県では、支払督促に係る訴えの提起については、議会から知事への委任専決事項に指定されているため、申立日に遡って専決処分を行ったとして、次回の議会に報告します。
- (2) 今後は相手方と話し合い、経済的に困窮しない範囲での分納を求めていきます。

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

平成30年6月4日

三重県知事 鈴木英敬

訴えの提起（和解を含む。）について

県は、次の者を相手として三重県高等学校等修学奨学金返還金の滞納に関し、支払督促に係る訴えの提起（和解を含む。）を行った。

区分	住所	氏名	専決年月日
教育委員会	津市美杉町川上1313番地2	(連帯保証人) 藤井 梓	平成30年3月19日

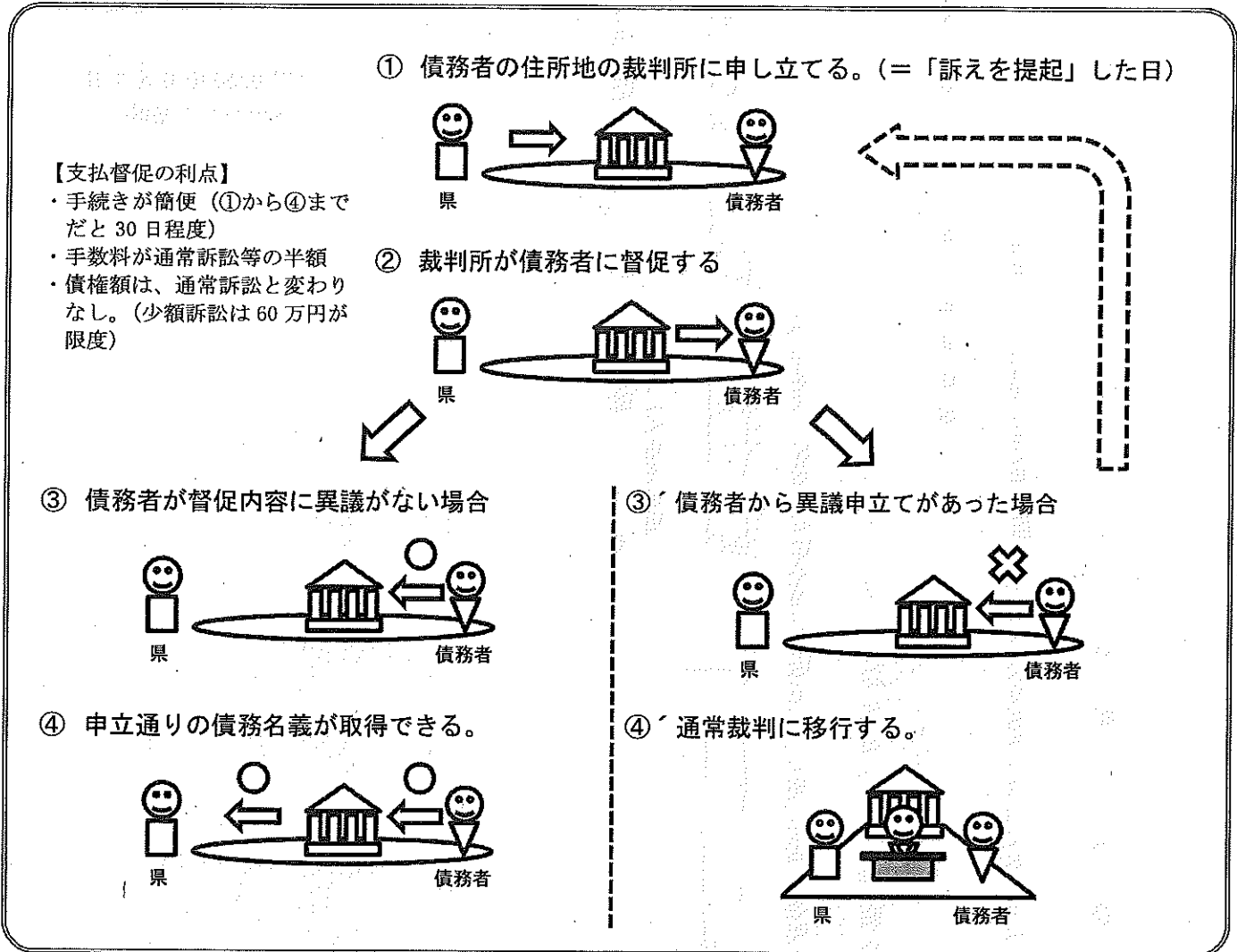
参考資料2

同一債権に係る既報告分

※平成30年5月7日
報告分から抜粋

支払督促制度の概要等

1 支払督促制度の概要



2 債権管理の取り組み

段階	対象（原則）	取組内容
第1段階	納期限までに納付しなかった者	文書督促（催告）、架電、自宅訪問
第2段階※	6か月以上滞納した者	債権回収会社（サービサー）へ債権回収委託
第3段階	第2段階で滞納解消に至らなかった者	最終催告を行い、裁判所へ支払督促申立て
第4段階	第3段階で債務名義を取得した者	強制執行による債権の回収

※第2段階は三重県高等学校等修学奨学金返還金の場合

報告3

平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について、別紙のとおり報告する。

平成30年7月27日提出

三重県教育委員会事務局
教職員課長

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

第1次選考試験受験状況

		平成31年度採用					平成30年度採用					受験者数の増減 (b) - (e)
		申込者数	受験者数	受験率	採用見込数	実質倍率	申込者数	受験者数	受験率	合格者数	実質倍率	
		(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(b)/(c)	(d)	(e)	(e)/(d)	(f)	(e)/(f)	
校種等別	小学校	999	919	92.0%	約192	4.8	1,045	965	92.3%	250	3.9	△ 46
	中学校	933	857	91.9%	約84	10.2	939	868	92.4%	126	6.9	△ 11
	高等学校	645	550	85.3%	約52	10.6	760	666	87.6%	56	11.9	△ 116
	特別支援学校	97	91	93.8%	約16	5.7	97	91	93.8%	15	6.1	0
	養護教諭	211	194	91.9%	約20	9.7	224	209	93.3%	25	8.4	△ 15
	栄養教諭	55	45	81.8%	約3	15.0	60	52	86.7%	5	10.4	△ 7
合計		2,940	2,656	90.3%	約367	7.2	3,125	2,851	91.2%	477	6.0	△ 195

※ 中学校と高等学校の採用見込数にはスポーツ競技者特別選考の各1名を含みます。

平成31年度三重県公立学校教員採用選考試験

第1次選考試験実施状況

三重県教育委員会

校種等・教科・科目		採用見込数	申込者数	第1次選考試験 受験者数	
小・学 校 教 諭		約192名	999	919	
中 学 校 教 諭	国 語	約11名	136	127	
	社 会	約8名	179	163	
	数 学	約11名	114	108	
	理 科	約15名	81	70	
	音 楽	約3名	54	49	
	美 術	約4名	31	26	
	保 健 体 育	約12+1 ^{※1} 名	192	181	
	技 術	約2名	10	10	
	家 庭	約2名	15	12	
	英 語	約15名	121	111	
	小 計	約83+1 ^{※1} 名	933	857	
高 等 学 校 教 諭	国 語	約7名	77	66	
	地 理 歴 史	約3名	75	61	
	数 学	約11名	97	86	
	理 科	約5名	78	67	
	保 健 体 育	約6+1 ^{※2} 名	164	146	
	家 庭	約3名	19	14	
	工 業	機 械 系	約2名	18	17
	工 業	電 気 電 子 系	約2名	8	7
	工 業	建 築 系	約2名	6	4
	英 語	約7名	69	56	
	情 報	約3名	34	26	
小 計	約51+1 ^{※2} 名	645	550		
特 別 支 援 学 校 教 諭	小 学 部	約12名	66	61	
	中 学 部 ・ 高 等 部	音 楽	約2名	10	10
		保 健 体 育	約2名	21	20
	小 計	約16名	97	91	
養 護 教 諭		約20名	211	194	
栄 養 教 諭		約3名	55	45	
合 計		約365+2 ^{※1,2} 名	2,940	2,656	

※1 この1名は、スポーツ競技者特別選考(中学校保健体育)の採用見込数です。

※2 この1名は、スポーツ競技者特別選考(高等学校保健体育)の採用見込数です。

公立学校教員採用選考実施状況

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
小学校教諭	申込者数	833	958	1,007	1,075	1,083	1,042	1,019	1,026	1,045	999
	受験者数	762	882	927	987	1,009	974	936	964	965	919
	1次合格者数	365	413	446	510	567	476	505	508	518	
	2次合格者数	171	210	200	240	290	238	252	247	252	
中学校教諭	申込者数	916	975	979	1044	1042	1032	1020	1,005	939	933
	受験者数	803	869	859	943	950	936	937	907	868	857
	1次合格者数	284	349	320	357	367	369	359	386	358	
	2次合格者数	102	141	125	138	145	138	133	132	126	
高等学校教諭	申込者数	751	927	938	938	891	848	870	806	760	645
	受験者数	629	776	798	803	790	744	760	694	666	550
	1次合格者数	225	311	298	268	304	205	268	178	169	
	2次合格者数	79	128	106	93	111	72	87	61	57	
特別支援学校教諭	申込者数	44	72	73	72	84	77	76	88	97	97
	受験者数	41	66	68	63	82	74	72	82	91	91
	1次合格者数	27	32	37	33	51	36	40	48	42	
	2次合格者数	13	16	16	13	25	16	18	21	17	
養護教諭	申込者数	217	231	226	227	238	218	196	219	224	211
	受験者数	196	211	204	200	213	202	181	201	209	194
	1次合格者数	51	72	36	53	71	60	56	67	77	
	2次合格者数	17	26	12	17	24	23	19	22	28	
栄養教諭	申込者数	82	88	66	66	57	67	53	57	60	55
	受験者数	66	69	47	54	48	54	41	52	52	45
	1次合格者数	30	25	24	16	13	22	14	18	16	
	2次合格者数	10	8	8	5	5	6	5	5	5	
合計	申込者数	2,843	3,251	3,289	3,422	3,395	3,284	3,234	3,201	3,125	2,940
	受験者数	2,497	2,873	2,903	3,050	3,092	2,984	2,927	2,900	2,851	2,656
	1次合格者数	982	1,202	1,161	1,237	1,373	1,168	1,242	1,205	1,180	
	2次合格者数	392	529	467	506	600	493	514	488	485	

注1) 平成14年度採用から盲・聾・養護学校教諭の別枠募集を廃止した。

注2) 平成17、18、19年度採用においては、自立活動教諭(肢体不自由教育)の募集を行い、その他の盲・聾・養護学校教諭は相当校種に含めて募集した。

注3) 平成19年度採用から栄養教諭の募集を開始した。

注4) 平成20年度採用からは盲・聾・養護学校は、特別支援学校に名称変更した。

注5) 平成21年度採用から特別支援学校教諭の募集を開始した。

日期	姓名	性别	年龄	籍贯	民族	文化程度	职业	工资	备注
1990.12.31	张三	男	35	山西	汉族	高中	工人	1200	
1990.12.31	李四	女	28	河南	汉族	初中	工人	1000	
1990.12.31	王五	男	42	山东	汉族	大学	干部	1500	
1990.12.31	赵六	女	30	河北	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	孙七	男	25	湖北	汉族	初中	工人	900	
1990.12.31	周八	女	38	湖南	汉族	高中	工人	1150	
1990.12.31	吴九	男	45	安徽	汉族	大学	干部	1600	
1990.12.31	郑十	女	22	浙江	汉族	初中	工人	850	
1990.12.31	冯十一	男	32	江西	汉族	高中	工人	1050	
1990.12.31	陈十二	女	40	四川	汉族	大学	干部	1450	
1990.12.31	褚十三	男	27	福建	汉族	初中	工人	950	
1990.12.31	褚十四	女	33	广东	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	褚十五	男	41	广西	汉族	大学	干部	1550	
1990.12.31	褚十六	女	29	云南	汉族	初中	工人	980	
1990.12.31	褚十七	男	37	贵州	汉族	高中	工人	1080	
1990.12.31	褚十八	女	43	陕西	汉族	大学	干部	1650	
1990.12.31	褚十九	男	24	甘肃	汉族	初中	工人	880	
1990.12.31	褚二十	女	31	宁夏	汉族	高中	工人	1020	
1990.12.31	褚二十一	男	39	青海	汉族	大学	干部	1480	
1990.12.31	褚二十二	女	26	内蒙古	汉族	初中	工人	920	
1990.12.31	褚二十三	男	34	新疆	汉族	高中	工人	1060	
1990.12.31	褚二十四	女	44	黑龙江	汉族	大学	干部	1700	
1990.12.31	褚二十五	男	23	吉林	汉族	初中	工人	860	
1990.12.31	褚二十六	女	36	辽宁	汉族	高中	工人	1120	
1990.12.31	褚二十七	男	46	北京	汉族	大学	干部	1750	
1990.12.31	褚二十八	女	21	天津	汉族	初中	工人	840	
1990.12.31	褚二十九	男	29	河北	汉族	高中	工人	1000	
1990.12.31	褚三十	女	37	山西	汉族	大学	干部	1400	
1990.12.31	褚三十一	男	47	内蒙古	汉族	高中	工人	1180	
1990.12.31	褚三十二	女	20	辽宁	汉族	初中	工人	820	
1990.12.31	褚三十三	男	28	吉林	汉族	高中	工人	1040	
1990.12.31	褚三十四	女	35	黑龙江	汉族	大学	干部	1350	
1990.12.31	褚三十五	男	43	上海	汉族	高中	工人	1160	
1990.12.31	褚三十六	女	51	江苏	汉族	大学	干部	1800	
1990.12.31	褚三十七	男	19	浙江	汉族	初中	工人	800	
1990.12.31	褚三十八	女	27	安徽	汉族	高中	工人	1020	
1990.12.31	褚三十九	男	35	江西	汉族	大学	干部	1300	
1990.12.31	褚四十	女	43	福建	汉族	高中	工人	1140	
1990.12.31	褚四十一	男	51	广东	汉族	大学	干部	1850	
1990.12.31	褚四十二	女	18	广西	汉族	初中	工人	780	
1990.12.31	褚四十三	男	26	云南	汉族	高中	工人	1000	
1990.12.31	褚四十四	女	34	贵州	汉族	大学	干部	1250	
1990.12.31	褚四十五	男	42	陕西	汉族	高中	工人	1120	
1990.12.31	褚四十六	女	50	甘肃	汉族	大学	干部	1900	
1990.12.31	褚四十七	男	17	宁夏	汉族	初中	工人	760	
1990.12.31	褚四十八	女	25	青海	汉族	高中	工人	980	
1990.12.31	褚四十九	男	33	内蒙古	汉族	大学	干部	1200	
1990.12.31	褚五十	女	41	新疆	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	褚五十一	男	49	黑龙江	汉族	大学	干部	1950	
1990.12.31	褚五十二	女	16	吉林	汉族	初中	工人	740	
1990.12.31	褚五十三	男	24	辽宁	汉族	高中	工人	960	
1990.12.31	褚五十四	女	32	北京	汉族	大学	干部	1150	
1990.12.31	褚五十五	男	40	天津	汉族	高中	工人	1080	
1990.12.31	褚五十六	女	48	河北	汉族	大学	干部	1800	
1990.12.31	褚五十七	男	56	山西	汉族	高中	工人	1180	
1990.12.31	褚五十八	女	15	内蒙古	汉族	初中	工人	720	
1990.12.31	褚五十九	男	23	辽宁	汉族	高中	工人	940	
1990.12.31	褚六十	女	31	吉林	汉族	大学	干部	1100	
1990.12.31	褚六十一	男	39	黑龙江	汉族	高中	工人	1060	
1990.12.31	褚六十二	女	47	上海	汉族	大学	干部	1750	
1990.12.31	褚六十三	男	55	江苏	汉族	高中	工人	1160	
1990.12.31	褚六十四	女	14	浙江	汉族	初中	工人	700	
1990.12.31	褚六十五	男	22	安徽	汉族	高中	工人	920	
1990.12.31	褚六十六	女	30	江西	汉族	大学	干部	1050	
1990.12.31	褚六十七	男	38	福建	汉族	高中	工人	1020	
1990.12.31	褚六十八	女	46	广东	汉族	大学	干部	1700	
1990.12.31	褚六十九	男	54	广西	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	褚七十	女	13	云南	汉族	初中	工人	680	
1990.12.31	褚七十一	男	21	贵州	汉族	高中	工人	900	
1990.12.31	褚七十二	女	29	陕西	汉族	大学	干部	1000	
1990.12.31	褚七十三	男	37	甘肃	汉族	高中	工人	1040	
1990.12.31	褚七十四	女	45	宁夏	汉族	大学	干部	1650	
1990.12.31	褚七十五	男	53	青海	汉族	高中	工人	1140	
1990.12.31	褚七十六	女	12	内蒙古	汉族	初中	工人	660	
1990.12.31	褚七十七	男	20	辽宁	汉族	高中	工人	880	
1990.12.31	褚七十八	女	28	吉林	汉族	大学	干部	1020	
1990.12.31	褚七十九	男	36	黑龙江	汉族	高中	工人	1000	
1990.12.31	褚八十	女	44	北京	汉族	大学	干部	1600	
1990.12.31	褚八十一	男	52	天津	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	褚八十二	女	60	河北	汉族	大学	干部	1750	
1990.12.31	褚八十三	男	68	山西	汉族	高中	工人	1180	
1990.12.31	褚八十四	女	11	内蒙古	汉族	初中	工人	640	
1990.12.31	褚八十五	男	19	辽宁	汉族	高中	工人	860	
1990.12.31	褚八十六	女	27	吉林	汉族	大学	干部	1000	
1990.12.31	褚八十七	男	35	黑龙江	汉族	高中	工人	980	
1990.12.31	褚八十八	女	43	上海	汉族	大学	干部	1650	
1990.12.31	褚八十九	男	51	江苏	汉族	高中	工人	1140	
1990.12.31	褚九十	女	59	浙江	汉族	初中	工人	620	
1990.12.31	褚九十一	男	67	安徽	汉族	高中	工人	840	
1990.12.31	褚九十二	女	75	江西	汉族	大学	干部	980	
1990.12.31	褚九十三	男	83	福建	汉族	高中	工人	1020	
1990.12.31	褚九十四	女	91	广东	汉族	大学	干部	1650	
1990.12.31	褚九十五	男	99	广西	汉族	高中	工人	1100	
1990.12.31	褚九十六	女	107	云南	汉族	初中	工人	600	
1990.12.31	褚九十七	男	115	贵州	汉族	高中	工人	820	
1990.12.31	褚九十八	女	123	陕西	汉族	大学	干部	960	
1990.12.31	褚九十九	男	131	甘肃	汉族	高中	工人	1000	
1990.12.31	褚一百	女	139	宁夏	汉族	大学	干部	1600	

1. 本表所列人员均系在职职工，其工资、福利、保险等项均按国家规定执行。
 2. 本表所列人员均系正式职工，其工龄、职称、学历等项均按国家规定执行。
 3. 本表所列人员均系在岗职工，其出勤、考核、奖惩等项均按国家规定执行。
 4. 本表所列人员均系在册职工，其人事、档案、户籍等项均按国家规定执行。

報告 4

第 6 5 回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成 3 0 年度全国高等学校
総合体育大会三重県選手団について

第 6 5 回東海高等学校総合体育大会の結果及び平成 3 0 年度全国高等学校総合体育大会
三重県選手団について、別紙のとおり報告する。

平成 3 0 年 7 月 2 7 日提出

三重県教育委員会事務局
保健体育課長

1. *Handwritten text, likely a date or reference number.*

2. *Handwritten text, possibly a name or title.*

3. *Handwritten text, possibly a name or title.*

4. *Handwritten text, possibly a name or title.*

5. *Handwritten text, possibly a name or title.*

6. *Handwritten text, possibly a name or title.*

第65回東海高等学校総合体育大会の結果について

- 1 期 日 平成30年6月16日(土)・6月17日(日)
(一部競技は、大会期日の前後で開催)
- 2 場 所 愛知県内各地ほか(一部種目は、三重県で開催)
- 3 主催者 東海高等学校体育連盟、岐阜県教育委員会、愛知県教育委員会、
静岡県教育委員会、三重県教育委員会、東海関係各競技団体
- 4 総合開会式
 - (1) 日時 平成30年6月16日(土) 11時00分
 - (2) 会場 ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)
 - (3) 参加者 バレーボール競技の選手、監督、役員
- 5 参加者 (1) 岐阜・愛知・静岡・三重の東海4県の各県予選を勝ち抜いた団体・個人
(2) 参加競技 31競技
- 6 主な成績 (1) 団体(男女別上位3位まで) 2ページ参照
(2) 個人(男女別上位3位まで) 3～6ページ参照
※水泳の結果を除く。

平成30年度 第65回東海高等学校総合体育大会 成績一覧

《愛知県開催》

種 目	男 子			女 子			
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位	
【陸上競技】	豊 川 (愛)	中京大中京 (愛)	市岐阜商 (岐)	至学館 (愛)	松 阪 商 (三)	中京大中京 (愛)	
【水泳】	競 泳						
	飛 込						
	水 球						
バレーボール	星 城 (愛)	愛工大名電 (愛)	聖 隷 (静) 県岐阜商 (岐)	岡崎学園 (愛)	三 重 (三)	誠 信 (愛) 富 士 見 (静)	
バスケットボール	中部大第一 (愛)	飛 龍 (静)	美濃加茂 (岐)	安城学園 (愛)	桜花学園 (愛)	岐阜女子 (岐)	
ソフトテニス	愛産大三河 (愛)	三 重 (三)	美濃加茂 (岐) 中京院中京 (岐)	三 重 (三)	浜 松 商 (静)	岡崎城西 (愛) 鷺 谷 (岐)	
サッカー (女子はIH予選)	清水桜が丘 (静)	中京院中京 (岐)	各 務 原 (岐) 刈 谷 (愛)	藤枝順心 (静)	聖カピタニオ子 女 (愛)	帝京可児 (岐)	
テ ニ ス	四 日 市 工 (三)	名 古 屋 (愛)	名経大市邨 (愛) 麗 澤 瑞 浪 (岐)	四 日 市 商 (三)	愛 知 啓 成 (愛)	椋山女学園 (愛) 浜 松 市 立 (静)	
体 操	競 技	曙 (三)	名城大学附 (愛)	静岡学園 (静)	名経大市邨 (愛)	常葉大常葉 (静)	武 豊 (愛)
	新体操	武 豊 (愛)	島 田 工 (静)	阿 久 比 (愛)	常葉大常葉 (静)	城南静岡 (静)	名 女 大 (愛)
卓 球	愛工大名電 (愛)	静岡学園 (静)	浜松修学舎 (静) 富 田 (岐)	富 田 (岐)	桜 丘 (愛)	愛み大瑞穂 (愛) 名経大高蔵 (愛)	
ラグビー	A	春日丘 (愛)	関 商 工 (岐)	静岡聖光 (静)			
	B	岐 阜 工 (岐)	名 古 屋 (愛)	四 日 市 工 (三)			
ハンドボール	愛 知 (愛)	春 日 丘 (愛)	市岐阜商 (岐) 清水桜が丘 (静)	名経大市邨 (愛)	四 日 市 商 (三)	清水桜が丘 (静) 飛 騨 高 山 (岐)	
軟式野球	A	享 栄 (愛)	中京院中京 (岐)	伊 勢 (三) 静 岡 商 (静)			
	B	宇 治 山 田 (三)	浜 松 啓 陽 (静)	岐 阜 邦 (愛)			
ソフトボール	飛 龍 (静)	四 日 市 工 (三)	刈 谷 工 (愛) 美濃加茂 (岐)	岐阜女子 (岐)	星 城 (愛)	東海学園 (愛) 常葉大菊川 (静)	
バドミントン	名経大市邨 (愛)	富 士 見 (静)	皇 學 館 (三) 県岐阜商 (岐)	名経大市邨 (愛)	県岐阜商 (岐)	大 垣 西 (岐) 常葉大菊川 (静)	
剣 道	磐 田 東 (静)	星 城 (愛)	三 重 (三) 高 山 西 (岐)	磐 田 西 (静)	磐 田 東 (静)	星 城 (愛) 皇 學 館 (三)	
柔 道	大 成 (愛)	中京院中京 (岐)	名 張 (三) 加藤学園 (静)	名 張 (三)	大 成 (愛)	四 日 市 中 央 工 (三) 藤 枝 順 心 (静)	
弓 道	中京院中京 (岐)	豊 橋 商 (愛)	静 岡 東 (静) 松 阪 工 (三)	静 岡 (静)	島 田 商 (静)	沼 津 商 (静) 桜 丘 (愛)	
登 山	藤 枝 東 (静)	菰 山 (静)	四 日 市 工 (三)	富 士 (静)	富 士 宮 西 (静)	旭 丘 (愛)	
相 撲	飛 龍 (静)	愛工大名電 (愛)	岐阜農林 (岐) 宇治山田商 (三)				
ボ ー ト	加 茂 (岐)	浜 松 北 (静) 浜 松 湖 南 (静)		浜 松 西 (静)	浜 松 北 (静)	加 茂 (岐)	
ウェイトリフティング	愛工大名電 (愛)	四 日 市 中 央 工 (三)	名 城 大 附 (愛)				
フェンシング	大 垣 南 (岐)	愛工大名電 (愛)	海 星 (三) 沼 津 西 (静)	羽 島 北 (岐)	大 垣 南 (岐)	至 学 館 (愛) 愛 知 商 (愛)	
レスリング	いなほ総合 (三)	沼 津 城 北 (静)	岐 南 工 (岐) 星 城 (愛)				
【自転車競技】	岐阜第一 (岐)	岐 南 工 (岐)	朝 明 (三)				
【ヨット】	津 工 (三)	碧 南 工 (愛)	海 津 明 誠 (岐)	半 田 (愛)	碧 南 (愛)	湖 西 (静)	
【ホッケー】	岐阜総合 (岐)	御 殿 場 西 (静)	名古屋国際 (愛)	岐阜各務野 (岐)	名古屋商 (愛)	沼 津 商 (静)	
ボクシング	飛 龍 (静)	刈 谷 工 (愛)	久 居 (三)				
アーチェリー	愛産大三河 (愛)	浜 松 湖 東 (静)	高 山 西 (岐)	聖 マ リ ア (岐)	浜 松 商 (静)	大 垣 西 (岐)	
空 手 道	御 殿 場 西 (静)	静 岡 北 (静)	星 城 (愛) 県岐阜商 (岐)	御 殿 場 西 (静)	常葉大菊川 (静)	星 城 (愛) 県岐阜商 (岐)	
な ぎ な た				東海学園 (愛)	大 垣 商 (岐)	稲 生 (三) 高 田 (三)	
カヌー	スプリント	東 郷 (愛)	杜 若 (愛)	八 百 津 (岐)	杜 若 (愛)	三 好 (愛)	桑 名 西 (三)

※【 】付の種目は東海総体が全国総体のブロック予選となるもの。

種別	選手名	所属	年齢	身長	体重	種別	選手名	所属	年齢	身長	体重
12 フェンシング	フルール	レベ	加藤 俊輔	大塚 隆	大竹 大	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆
	エ	ベ	井上 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆
	サ	ブル	加藤 俊輔	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆	大塚 隆
		51kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		55kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		60kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		65kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		71kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		80kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		92kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		125kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
	13 レスリング		51kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		55kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		60kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		65kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		71kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		80kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		92kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		125kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		47kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		50kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		53kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
		57kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶
	62kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	
	68kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	
	74kg級	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	山口 叶	

平成30年度全国高等学校総合体育大会について

- 1 期 日 平成30年7月26日(木)から8月20日(月)まで
 - 2 場 所 三重県、岐阜県、静岡県、愛知県及び和歌山県
※種目会場については、別冊「平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県選手団名簿」のP4を参照してください。
 - 3 主催者 公益財団法人全国高等学校体育連盟
三重県、岐阜県、静岡県、愛知県、和歌山県
三重県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、
愛知県教育委員会、和歌山県教育委員会、関係中央競技団体
 - 4 大会愛称および大会スローガン
大会愛称 「2018 彩る感動 東海総体」
大会スローガン 「跳べ 誰よりも高く 東海の空に」
 - 5 三重県選手団
 - 団 長 阿形 克己(三重県高等学校体育連盟会長)
 - 総監督 藤田 隆司(三重県高等学校体育連盟理事長)
 - 旗 手 川合 隆誠(三重高等学校 陸上競技部)
 - 参加種目 29種目(男子28種目、女子25種目)
 - 参加校 47校(男子41校、女子32校)
 - 参加人数 [選手] 男子 437名、女子 302名 計 739名
[役員・監督等] 計 172名
- ※ 水泳競技については、7月20日から22日の東海高等学校総合体育大会の結果によるため、参加校、参加人数には、含めていません。
- ※ 参加校については、別冊「平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県選手団名簿」のP3を参照してください。
- 6 総合開会式
 - 日 時 平成30年8月1日(水) 午前10時00分 開始
 - 場 所 三重県営サンアリーナ
 - 参加者 陸上競技、ウエイトリフティング、女子バレーボールの選手及び役員

平成30年度全国高等学校総合体育大会

三重県選手団名簿



翔べ誰よりも高く東海の空へ

三重県高等学校体育連盟

目 次

三重県選手団	2
種目別参加校一覧表	3
大会日程及び競技会場一覧表	4
全国高等学校総合体育大会参加選手心得	5
陸上競技	6
体操競技・新体操	10
テニス競技	11
ソフトテニス競技	12
卓球競技	14
サッカー競技	15
バレーボール競技	16
バスケットボール競技	18
ソフトボール競技	19
ハンドボール競技	21
バドミントン競技	23
相撲競技	24
柔道競技	25
剣道競技	27
弓道競技	29
登山競技	30
ウエイトリフティング競技	31
レスリング競技	32
自転車競技	34
ヨット競技	35
ボート競技	36
フェンシング競技	37
ボクシング競技	38
空手道競技	39
なぎなた競技	40
アーチェリー競技	41
カヌー競技	42
少林寺拳法競技	43

三重県選手団

- ◎団 長 阿形 克己 三重県高体連会長 稲生高等学校長
◎総 監 督 藤田 隆司 三重県高体連理事長 稲生高等学校教諭
◎旗 手 川合 隆誠 三重高等学校3年生 陸上競技部
◎三重県選手団 参加総人数 911名

	参加種目数	参加校数	参加人数
男子選手	28種目	41校	437名
女子選手	25種目	32校	302名
合計	29種目	47校	739名

監督・引率責任者・コーチ等	162名
高体連本部役員	10名
合計	172名

総合開会式

- ・期 日 平成30年8月1日(水)
- ・場 所 三重県営サンアリーナ
〒516 0021 伊勢市朝熊町字鴨谷 4383 4 TEL(0596)22 7700
- ・参加種目 陸上競技、バレーボール(女子)、ウエイトリフティング
- ・集合場所 三重県選手団控場所
- ・集合時間 8:45 集合(整列)完了
8:50 三重県教育委員会挨拶・激励
三重県高等学校体育連盟挨拶・激励

平成30年度 全国高等学校総合体育大会種目別参加校一覧

種目名		選 手				計 人数
		男 子		女 子		
		人数	学校名 (人数)	人数	学校名 (人数)	
陸 上 競 技		46 名	桑名1 桑工1 四工9 稲生1 亀山1 津東1 久居1 松商1 伊勢1 伊工2 山商13 上野2 伊賀白鳳4 三重1 皇學館3 伊勢学園1 近大高専3	17 名	四郷1 菰野1 稲生1 津商2 松商8 伊勢2 上野1 三重1	63 名
水 泳	競 泳	名		名		名
	飛 込	名		名		名
	水 球	名		名		名
体 操	競 技	8 名	暁8	7 名	暁7	15 名
	新 体 操	1 名	高田1	9 名	名張8 津田学園1	10 名
テ ニ ス		11 名	四工6 四日市5	10 名	四商5 津商5	21 名
ソ フ ト テ ニ ス		25 名	三重15 近大高専8 伊工2	24 名	三重16 松商8	49 名
卓 球		10 名	高田7 白子3	8 名	白子7 高田1	18 名
サ ッ カ ー		34 名	三重17 伊賀白鳳17	0 名		34 名
バ レ ー ボ ー ル		26 名	松工13 皇學館13	26 名	津商13 三重13	52 名
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル		13 名	四工13	13 名	四商13	26 名
ソ フ ト ボ ー ル		35 名	四工18 津西17	36 名	伊勢学園18 津商18	71 名
ハ ン ド ボ ー ル		31 名	四工15 いなべ総合16	27 名	四商14 暁13	58 名
バ ド ミ ン ト ン		10 名	皇學館8 暁2	10 名	皇學館8 明野2	20 名
相 撲		5 名	山商5			5 名
柔 道		16 名	名張7 四中工9	16 名	名張7 四中工4 四工1 高田2 皇學館2	32 名
剣 道		16 名	三重7 四工7 津田学園1 皇學館1	15 名	皇學館7 三重7 桑名1	31 名
弓 道		8 名	松工6 久居1 鈴鹿高専1	7 名	伊勢6 四日市メリノール1	15 名
登 山		8 名	四工4 神戸4	8 名	神戸4 いなべ総合4	16 名
ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ		18 名	四工6 四中工6 石薬師2 亀山4			18 名
レ ス リ ン グ		35 名	いなべ総合11 朝明16 四郷2 松工6	7 名	いなべ総合2 朝明3 四郷1 久居1	42 名
自 転 車		11 名	朝明10 三重1	1 名	朝明1	12 名
ヨ ッ ト		9 名	津工9	4 名	津工4	13 名
ボ ー ト		11 名	津7 相可1 昴学園3	11 名	津4 津商7	22 名
フ ェ ン シ ン グ		7 名	海星6 鳥羽1	7 名	津東6 鳥羽1	14 名
ボ ク シ ン グ		7 名	朝明1 四工1 久居3 明野2			7 名
空 手 道		8 名	四郷8	10 名	川越7 四商3	18 名
な ぎ な た				15 名	稲生8 高田7	15 名
ア ー チ ョ リ ー		5 名	海星4 四郷1	5 名	四郷4 四南1	10 名
カ ヌ ー		13 名	桑西13	5 名	桑西5	18 名
少 林 寺 拳 法		10 名	鳥羽商船7 四中工2 伊賀白鳳1	4 名	四郷2 四工1 菰野1	14 名
合 計		437 名	41 校	302 名	32 校	739 名

水泳競技については、東海高等学校総合体育大会（7/20～22）にて決定

平成30年度 全国高等学校総合体育大会
参加選手心得

(公財)全国高等学校体育連盟

全国高等学校総合体育大会の開催は、高等学校及び中等教育学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な生徒を育成するとともに、生徒の相互の親睦をはかろうとするものである。

参加する選手は、日頃学習した技を競うだけでなく、その生活態度においても高等学校及び中等教育学校生らしい態度で終始するとともに、他県選手団及び開催地との友情を深め、参加したことが最大の収穫となるよう努力してもらいたい。

1 基本的な生活態度

- (1) 理性をもって正しい判断にもとづいて明朗快活に行動する。
- (2) 自己中心でなく、お互いが協調性を発揮し、積極的に協力する。
- (3) 節制に努め、健康管理には十分注意する。

2 競技会参加への態度

- (1) 競技規則を理解し、尊重する。
- (2) 高校生らしい態度で、しかもスポーツマン精神で参加する。
- (3) 練習についても、けがや事故のないように十分注意して行う。

3 移動や宿舎における態度

- (1) 交通機関について
公德心を守り、他人に対する思いやりをもって行動する。
- (2) 宿舎での生活
 - ① 時間を守り、自分勝手な行動をしない。
 - ② セルフサービスをモットーとし、配膳、寝具の整理整頓、清掃等も積極的に行う。
 - ③ 地域の人や、他県の選手にも、気持ちよくあいさつをかわす。
 - ④ 貴重品の管理については十分注意する。
 - ⑤ 非常口については、前もってよく理解しておき、避難の方法についても十分確認しておく。
- (3) 外出先や自由見学について
 - ① 高校生らしい身だしなみで行動する。
 - ② グループで行動し、時間を守る。
 - ③ 公共物、動植物を大切にし、自然環境をそこなわないようにする。
- (4) 保険証について
参加選手は、健康保険証を持参する。

【全国高等学校総合体育大会 便覧 資料10】より

※ 宿舎等での節電に努めよう！！

陸上競技

(男子 17校 46名 女子 8校 17名 合計 63名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目
	桑名西高等学校	総監督	向 井 俊 哉		
	宇治山田商業高等学校	男子監督	小 池 弘 文		
	松阪商業高等学校	女子監督	山 本 浩 武		
男 子	桑名高等学校	引率責任者	安 田 覚		
		選 手	谷 本 類 都	3	三段跳
	桑名工業 高等学校	引率責任者	野 田 道 胤		
		選 手	田 中 聡 真	3	砲丸投
	四日市工業 高等学校	引率責任者	長 屋 憲 明		
		選 手	山 路 康 太 郎	3	100m 200m
			林 哉 太	2	200m
			宮 崎 武 斗	3	砲丸投
			田 中 康 太 郎	1	4×100m R
			藤 原 尚 也	3	4×100m R
			渡 辺 壮 貴	1	4×100m R
			西 山 桐 矢	1	4×100m R
			伊 藤 健 太	3	4×100m R
	高 橋 隆 晟	3	4×100m R		
	稲生高等学校	引率責任者	南 幸 裕		
		選 手	三 井 康 平	2	円盤投
	亀山高等学校	引率責任者	時 田 潤 也		
		選 手	小 川 エ ン リ ケ	2	走高跳
津東高等学校	引率責任者	川 合 正 貢			
	選 手	田 口 雄 暉	2	三段跳	

陸上競技

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目
男 子	久居高等学校	引率責任者	松 本 基 之	/	
		選 手	前 川 広 晴	3	ハンマー投
	松阪商業高等学校	引率責任者	山 本 浩 武	/	
		選 手	前 川 純 太	3	砲丸投
	伊勢高等学校	引率責任者	出 口 義 人	/	
		選 手	松 井 駿 斗	2	棒高跳
	伊勢工業高等学校	引率責任者	濱 口 克 行	/	
		選 手	平 井 周 作	3	円盤投
			山 川 滉 心	2	ハンマー投
	宇治山田商業 高等学校	引率責任者	小 池 弘 文	/	
		選 手	西 山 遥 斗	3	400m 4×400m R
			古 谷 新 太	3	110mH 4×100m R
			鴨 澤 青 海	2	円盤投
			倉 野 瑞 樹	2	三段跳
			小 見 山 泰 周	3	4×100m R
			前 田 翔 太	3	4×100m R
			的 羽 陽 尚	3	4×100m R
村 田 浩 太 朗			3	4×100m R	
濱 口 虎 汰 郎			2	4×100m R 4×400m R	
中 村 伊 吹			3	4×400m R	
山 本 瑛 己			3	4×400m R	
古 尾 洸 介	2	4×400m R			
宮 脇 伸 宙	2	4×400m R			

陸上競技

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目
男 子	上野高等学校	引率責任者	平 井 裕 司	/	
		選 手	荒 川 尚 輝	3	5000mW
			村 手 光 樹	3	5000mW
	伊賀白鳳高等学校	引率責任者	中 武 隼	/	
		選 手	山 本 恭 澄	3	1500m 5000m
			宇 留 田 竜 希	3	5000m
			田 岡 享 真	3	3000m S C
			服 部 有 佑	3	5000mW
	三重高等学校	引率責任者	大 本 裕 樹	/	
		選 手	川 合 隆 誠	3	ハンマー投
	皇學館高等学校	引率責任者	平 賀 活 行	/	
		選 手	田 中 悠 貴	3	棒高跳
			藤 本 大 輝	2	走幅跳
			大 井 悠	2	八種競技
	伊勢学園高等学校	引率責任者	山 岡 卓 弥	/	
選 手		岡 田 太 陽	3	800m	
近畿大学工業 高等専門学校	引率責任者	松 尾 大 介	/		
	選 手	伊 藤 陸	3	走幅跳 三段跳	
		本 田 基 偉	2	走高跳	
		西 川 陽 人	3	八種競技	
女 子	四日市四郷 高等学校	引率責任者	野 呂 圭	/	
		選 手	松 永 莉 穂	2	やり投

陸上競技

種別	所属校	監督・引率選手	氏名	学年	出場種目
女子	菰野高等学校	引率責任者	小林 知樹	/	
		選手	小林 ゆい	3	ハンマー投
	稲生高等学校	引率責任者	南 幸裕	/	
		選手	岩本 乙夏	1	砲丸投 円盤投
	津商業高等学校	引率責任者	古保 達也	/	
		選手	川北 陽菜	3	1500m
			稲田 楓	3	100mH
	松阪商業高等学校	引率責任者	山本 浩武	/	
		選手	坂本 日和	3	ハンマー投
			豊田 舞奈	3	走高跳
			藤田 紗江	3	走高跳 七種競技
			牧戸 桃香	3	砲丸投
			村田 千夏	3	走幅跳
			床辺 彩乃	2	砲丸投
			西野 優里	2	砲丸投 やり投
			桃園 晴菜	2	円盤投 やり投
	伊勢高等学校	引率責任者	出口 義人	/	
		選手	長岡 里奈	3	100m
			吉田 二千翔	3	走幅跳
	上野高等学校	引率責任者	平井 裕司	/	
選手		井上 香里	2	5000mW	
三重高等学校	引率責任者	大本 裕樹	/		
	選手	中山 実優	3	三段跳	

体 操

(男子 1校 8名 女子 1校 7名 合計 15名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	暁高等学校	監 督	石 原 大	/		
		引率者	齊 藤 俊	/		
		選 手	長 崎 柊 人	3	チー ム	個 人
			首 藤 匠	2	チー ム	個 人
			津 村 涼 太	1	チー ム	個 人
			長 崎 奏 人	1	チー ム	個 人
			中 井 虹 多	2	補 欠	
			井 上 桂 蔵	2	補 欠	
			磯 村 周	1		個 人
清 水 日 向	3		個 人			
女 子	暁高等学校	引率者	齊 藤 俊	/		
		選 手	渋谷 咲良	3	チー ム	個 人
			尾 崎 紅葉	3	チー ム	個 人
			服 部 未 来 乃	3	チー ム	個 人
			川 本 幸	1	チー ム	個 人
			水 谷 咲 歩	3	補 欠	
			松 井 園 佳	1		個 人
			斉 藤 莉 央	1		個 人

新 体 操

(男子 1校 1名 女子 2校 9名 合計 10名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	高田高等学校	監 督	山 崎 和 俊	/		
		引率者	谷 口 英 敏	/		
		選 手	河 瀬 貴 哉	3		個 人
女 子	名張高等学校	引率者	辻 野 麻 由	/		
		選 手	中 西 桃 萌	3	団体競技	
			下 羅 雪 乃	3	団体競技	
			山 下 美 吹 雪	3	団体競技	
			堀 越 若 葉	3	団体競技	
			橋 本 恵 莉 佳	2	団体競技	
			奥 家 楓	2	団体競技	
			小 澤 亜 生	2	補 欠	
	安 藤 清 華	1	補 欠			
	津田学園高等学校	監 督	奥 山 し ず か	/		
引率者		植 村 奈 津 子	/			
選 手		戸 谷 百 華	3		個 人	

テニ ス

(男子 2校 11名 女子 2校 10名 合計 21名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	四日市工業 高等学校	監 督	徳 丸 真 史	/		
		引率責任者	青 木 旭	/		
		選 手	町 田 晴	3	団 体	シングルス ダブルス
			大 田 空	2	団 体	シングルス ダブルス
			山 岸 勇 貴	3	団 体	シングルス ダブルス
			永 井 大 貴	3	団 体	ダブルス
			副 田 温 斗	2	団 体	
			伊 藤 雄 太	3		シングルス
	四日市高等学校	監 督	馬 島 将 人	/		
		引率責任者	柴 田 勇	/		
		選 手	神 谷 康 太	3	団 体	
			徳 本 拓 也	2	団 体	
			金 森 雄 三	3	団 体	
			福 井 大 将	3	団 体	
前 田 貴 光	2		団 体			
女 子	四日市商業 高等学校	監 督	金 山 敦 思	/		
		引率責任者	山 口 航 平	/		
		選 手	吉 岡 希 紗	3	団 体	シングルス ダブルス
			原 田 真 実 子	3	団 体	シングルス ダブルス
			堤 華 蓮	2	団 体	シングルス ダブルス
			川 本 茉 穂	2	団 体	シングルス ダブルス
			中 西 梨 音	3	団 体	
	津商業高等学校	監 督	中 村 健 太 郎	/		
		引率責任者	北 尾 健	/		
		選 手	美 山 里 穂	3	団 体	
			二 神 あ み	2	団 体	
			勝 田 夏 海	2	団 体	
			福 森 未 来	3	団 体	ダブルス
			中 川 桃	1	団 体	ダブルス

ソフトテニス

(男子 3校 25名 女子 2校 24名 合計 49名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	三重高等学校	監督・引率	玉 川 裕 司			
		選 手	久保田 篤司	3	団 体	個 人
			西 泰 右	3	団 体	個 人
			大谷 陽 登	3	団 体	個 人
			戸田 佳惟斗	2	団 体	個 人
			高橋 直 広	3	団 体	
			森 颯 哉	3	団 体	個 人
			林 樹 杏	1	団 体	個 人
			岩本 幸大	1	団 体	個 人
			久我 知輝	2		個 人
			諸喜田 圭之輔	2		個 人
			岸原 輝空	2		個 人
			須賀 夏希	3		個 人
			中島 匠	3		個 人
			中屋 魁人	3		個 人
	濱口 勇真	3		個 人		
	近畿大学工業 高等専門学校	監督	木谷 有希			
		選 手	大久保 瑛朗	3	団 体	
			東尾 拓海	3	団 体	
			伊藤 大登	2	団 体	
			岡野 友昭	3	団 体	
			松月 亮太	1	団 体	
			内田 創也	1	団 体	
			黍野 恭輔	2	団 体	
	水谷 壮太	2	団 体			
伊勢工業高等学校	引率責任者	森 千恵子				
	選 手	藤原 舜貴	3		個 人	
		谷口 愛治	2		個 人	

ソフトテニス

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
女 子	三重高等学校	監督・引率	村 田 真 紀 乃			
		選 手	竹 田 真 樹	3	団 体	個 人
			藤 城 み ち る	2	団 体	個 人
			田 川 美 怜	3	団 体	個 人
			浪 岡 菜 々 美	2	団 体	個 人
			花 尻 風 夏	3	団 体	個 人
			高 場 姫 菜	3	団 体	個 人
			勝 田 珠 莉	2	団 体	個 人
			石 田 恵 美 莉	3	団 体	個 人
			矢 作 若 葉	2		個 人
			宮 下 史 帆	2		個 人
			小 竹 花	3		個 人
			矢 作 青 葉	2		個 人
			竹 田 奈 生	3		個 人
			吉 村 華	3		個 人
	大 津 陽 菜		3		個 人	
	川 俣 凜	3		個 人		
	松阪商業高等学校	監督	須 賀 光 世			
		選 手	西 口 舞	3	団 体	
			小 泉 美 月	3	団 体	
			宮 田 紗 和	3	団 体	
			谷 口 莉 優	2	団 体	
			長 伊 澄	2	団 体	
			松 井 美 侑	2	団 体	
			中 村 百 花	1	団 体	
			吉 田 栞 奈	1	団 体	

卓 球

(男子 2校 10名 女子 2校 8名 合計 18名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目		
					団体	個人	
男 子	高田高等学校	監督・引率	松 生 大 明				
		選 手	土 肥 慶 祐	3	学校対抗		
			石 城 蓮	3	学校対抗	シングルス ダブルス	
			溝 田 雅 斗	2	学校対抗	シングルス ダブルス	
			薄 井 陸 帆	2	学校対抗		
			郡 司 大 紀	2	学校対抗		
			山 本 護 大	1	学校対抗		
			鈴 木 波 輝	1	学校対抗		
	白子高等学校	監督・引率	瀬 古 広 毅				
		選 手	番 条 晃 大	3		シングルス ダブルス	
			阪 拓 海	1		シングルス	
			西 山 天 智	3		ダブルス	
	女 子	白子高等学校	監 督	西 飯 幸 子			
			引 率 責 任 者	瀬 古 広 毅			
選 手			長 谷 川 蒼	3	学校対抗		
			白 神 ひ かる	2	学校対抗	シングルス ダブルス	
			口 地 恋 菜	2	学校対抗	シングルス ダブルス	
			古 沢 夏 姫	2	学校対抗	ダブルス	
			西 口 凜	2	学校対抗		
			打 田 千 尋	2	学校対抗		
		日 口 実 咲	1	学校対抗	シングルス ダブルス		
高田高等学校		監督・引率	宇 仁 田 慎 司				
	選 手	長 江 日 南	3		シングルス		

サッカー

(男子 2校 34名 合計 34名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	背番号	ポジション
男 子	三重高等学校	監督・引率	伊 室 英 輝			
		選 手	村 木 壱 成	3	1	GK
			奥 村 和 暉	3	2	MF
			奥 田 祐 大	3	3	DF
			泉 亨 弥	2	4	DF
			柴 原 樹	3	5	DF
			吉 田 迅	3	6	MF
			藤 村 祐 世	3	7	MF
			佐 久 間 勇 太	3	8	MF
			宇 利 淳 希	3	9	FW
			坂 井 涼 真	3	10	FW
			飯 坂 唯 人	2	11	DF
			北 川 空	3	12	GK
			浅 野 響	2	13	MF
			大 原 哲	2	14	FW
			大 山 潤 人	2	15	MF
			久 保 田 優 志	2	16	MF
	松 田 大 聖	1	17	MF		
	伊賀白鳳高等学校	監督	下 田 祐 輔			
		引率者	野 澤 明 宏			
		選 手	福 留 海 音	3	1	GK
			桑 原 健 多	2	2	DF
			鳥 羽 雄 心	3	3	DF
			松 村 大 地	3	4	DF
			寫 本 武 藏	3	5	DF
			三 井 錬	3	6	MF
			鈴 木 太 基	3	7	MF
繁 田 晃 喜			3	8	MF	
亀 山 奏 己	3		9	DF		
藤 岡 翔 太	3		10	FW		
吉 田 雄 太	3	11	MF			
津 野 充 都 起	3	14	FW			
西 川 英 輝	3	17	GK			
小 倉 拓 海	3	18	FW			
川 北 力	2	19	FW			
西 口 諒	3	20	MF			
野 山 蓮 樹	2	25	MF			

バレーボール

(男子 2校 26名 女子 2校 26名 合計 52名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年
男 子	松阪工業高等学校	監督・引率	橋 本 雅 司	
		コーチ	菅 野 賢 志	
		マネージャー	池 田 大 輝	3
		選 手	井 上 和 紀	3
			石 黒 浩 己	3
			野 口 恒 太 朗	3
			米 倉 友 哉	2
			村 上 慎 平	2
			古 御 門 佑 馬	2
			吉 岡 遼	2
			伊 藤 悠 人	2
			大 村 た つ や	3
			古 川 大 翔	2
		島 風 渡	2	
	古 御 門 詩 月	2		
	皇學館高等学校	監督・引率	中 林 祐 介	
		コーチ	井 関 伸 芳	
		マネージャー	山 崎 春 那	3
		選 手	寺 川 敦 稀	3
			是 枝 楓 乃	3
			平 井 開 登	3
			八 田 健 吾	3
			久 保 圭 佑	2
岡 田 早 瀬			3	
岡 篤 希			3	
宮 田 大 廉			3	
松 浦 光 紀			3	
奥 川 凌	3			
澤 田 史 恩	2			
吉 川 颯 真	1			

バレーボール

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年
女 子	津商業高等学校	監督・引率	山 田 洋 次	
		コーチ	土 田 薫	
		マネージャー	伊 嵩 彩 花	3
		選 手	山 口 カ レ ン	2
			池 田 美 咲	2
			小 林 香 穂	2
			三 林 愛 理	3
			今 坂 あ かり	2
			柿 本 莉 子	3
			日 置 菜 々 恵	3
			北 條 絢 野	3
			杉 本 実 奈 海	2
			水 野 未 晴	3
		中 津 亜 美	1	
	柳 澤 未 樹	3		
	三重高等学校	監督・引率	中 村 純 郎	
		コーチ	川 島 萌	
		マネージャー	榎 凌 香	3
		選 手	村 尾 瞳	3
			廣 田 綾 那	2
			浮 ヶ 谷 夏 未	1
			山 川 亜 海	3
			福 本 夏 海	3
城 野 怜 奈			3	
岩 田 恵 麻			2	
世 古 紗 己			3	
小 倉 亜 美			2	
柏 端 し お り	2			
水 谷 花	2			
中 村 悠	1			

バスケットボール

(男子 1校 13名 女子 1校 13名 合計 26名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	エフホーム 番号
男 子	四日市工業高等学校	コーチ・引率	水 谷 幸 司	/	/
		アシスタント コーチ	藤 原 太	/	/
		マネージャー	森 健 志 郎	3	/
		選 手	三 谷 啓 吾	3	4
			中 川 貴 晶	2	5
			水 谷 祐 葵	3	6
			西 田 航	3	7
			春日部 昇大	1	8
			野 田 巧 真	2	9
			藤 本 拓 実	1	10
			吉 門 広 晶	3	11
			小 野 元 暉	2	12
			東 永 翼	1	13
			梅 田 丈 瑠	1	14
水 谷 航	2	15			
女 子	四日市商業高等学校	コーチ・引率	横 山 俊 幸	/	/
		アシスタント コーチ	鈴 木 則 恵	/	/
		マネージャー	山 本 星 来	1	
		選 手	井 谷 彩 良	3	4
			福 田 いくみ	3	5
			濱 田 晴 夏	3	6
			青 柳 咲 穂	3	7
			谷 口 ひ かる	3	8
			亀 井 更 紗	3	9
			野 口 穂 乃 夏	3	10
			堀 江 ゆ う み	3	11
			長 谷 川 紗 羅	2	12
			田 中 万 衣 羽	2	13
			松 浦 春 香	3	14
横 山 涼	2	15			

ソフトボール

(男子 2校 35名 女子 2校 36名 合計 71名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	背番号	氏 名	学年	背番号
男 子	四日市工業 高等学校	監 督	藤 吉 光	/	30			
		引率責任者	北 村 雅 任	/	/			
		マネージャー	加 藤 啓 祐	3	/			
		選 手	松 田 竜 輝	3	17	松 宮 大 起	2	4
			樋 口 智 也	3	1	矢 田 泰 樹	2	5
			山 田 昂 輝	2	8	真 弓 隼 輔	2	9
			山 本 祐 輔	2	3	前 田 倫 吾	2	11
			藤 井 皓 平	3	10	伊 藤 稔	3	14
			坂 口 伸 也	3	2	三 輪 春 稀	2	15
			横 井 陸	2	13	山 本 海 斗	3	23
	宮 本 尚 弥		2	7	佐 野 晃 基	1	24	
	服 部 凌 也		3	6				
	津西高等学校	監 督	西 尾 善 之	/	30			
		引率責任者	石 井 賀 津 雄	/	/			
		マネージャー	中 村 円 香	3	/			
		選 手	松 原 諒 弥	3	1	磯 田 優 翔	2	7
			川 口 瑞 希	2	9	花 村 勇 佑	2	5
			村 山 友 梧	3	3	山 添 正 広	2	6
			石 井 伶 旺	2	18	児 玉 知 樹	1	12
			山 添 晃 平	2	15	土 性 海 斗	1	4
石 井 綾 人			3	2	久 保 完 太	1	20	
小 倉 秀 斗			2	8	米 川 翔 真	1	16	
芝 山 大 登	3		10					
杉 田 拓 郎	2	11						

ソフトボール

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	背番号	氏 名	学年	背番号
女 子	伊勢学園 高等学校	監 督	山 田 恵		30			
		引率責任者	丸 中 亜 紀					
		マネージャー	磯 田 有 那	3				
		選 手	桑 鶴 花 帆	3	1	宇 田 朱 里	3	11
			堀 本 愛 美 加	3	10	山 村 紗 也 佳	3	12
			和 田 真 幸	3	3	関 いろは	2	14
			末 廣 星 愛	2	4	前 納 果 凜	1	2
			藤 原 楓 夏	3	5	泉 彩 音	1	15
			本 村 夏 穂	2	6	杉 浦 加 奈	1	16
			田 端 祐 里 恵	3	7	高 塚 和 果 奈	1	18
	千 葉 夏 希		2	8	田 良 島 有 香	1	20	
	杉 本 優 奈	2	9					
	津商業 高等学校	監 督	中 津 数 務		30			
		引率責任者	沖 田 み どり					
		マネージャー	澤 野 優 菜	3				
		選 手	櫻 井 碧 七	3	1	松 岡 彩 音	3	9
			勝 井 そ ら	3	10	松 岡 奈 南	2	11
			足 立 萌 樺	3	13	永 岡 伶	2	18
			山 下 結 夢	2	39	田 村 虹 月	2	16
前 田 歩 亜			3	19	村 林 乙 葉	2	2	
五十嵐 綺羅良			3	6	畑 井 美 月	2	36	
伊 藤 優	2		3	上 林 さ くら	3	20		
服 部 夏 実	2		23	濱 地 優 奈	3	5		
前 田 未 来	3	26						

ハンドボール

(男子 2校 31名 女子 2校 27名 合計 58名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	背番号	氏 名	学年	背番号
男 子	四日市工業 高等学校	監 督	織 田 洋 輔	/	/			
		引率・役員	千 種 雄 介	/	/			
		役 員	三 好 陸	3	/			
		選 手	渥 美 綾	3	1	江 崎 由 人	3	8
			伊 藤 凌 雅	3	2	内 田 士 硫	3	9
			金 津 亜 門	3	3	金 子 桂 汰	2	10
			内 田 夕 竣	3	4	田 口 晋	2	11
			森 田 和 哉	3	5	服 部 竣 輔	2	13
			下 倉 佑 真	3	6	矢 倉 綾 真	3	14
			渥 美 瑠	3	7	羽 多 野 尋 斗	1	16
	いなべ総合 学園高等学校	監督・引率	大 畑 俊 輔	/	/			
		役 員	小 林 真 歩	3	/			
		役 員	中 村 梨 乃	2	/			
		選 手	加 藤 倫 太 朗	2	1	浅 野 侑 希	2	8
			原 田 悠 作	2	2	飯 田 翔 太	3	9
			望 月 竜 之 介	3	3	山 下 恭 平	2	10
			奈 良 郁 弥	3	4	古 澤 誠	2	11
荒 川 弦 太			3	5	大 川 拓 真	2	12	
葛 卷 理 久 也			2	6	吉 澤 知 紘	2	13	
濱 口 魁 都			2	7	館 晴 大	2	14	

ハンドボール

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	背番号	氏 名	学年	背番号
女 子	四日市商業 高等学校	監督・引率	蛭 川 健 司	/	/			
		役 員	武 島 拓 也	/	/			
		役 員	橋 本 由 紀 子	/	/			
		選 手	伊 藤 汐 里	3	1	南 川 満 帆	2	8
			服 部 沙 也 加	3	2	伊 東 若 葉	2	9
			川 島 菜 々 子	3	3	吉 田 美 月	2	10
			和 氣 愛 華	3	4	伊 藤 朱 里	1	11
			中 西 玲 奈	3	5	加 藤 愛 望	1	12
			山 本 眞 子	3	6	服 部 望 愛	1	13
	古 川 瞳	2	7	濱 田 唯 花	1	14		
	暁高等学校	監督・引率	牛 島 卓 也	/	/			
		役 員	生 駒 裕	/	/			
		選 手	渡 部 繭	3	1	赤 塚 天 音	2	9
			加 藤 未 久	3	2	楠 井 夏 生	2	10
			吉 續 友 希	3	4	中 村 美 海	2	11
伊 藤 海 里			3	5	橋 爪 麻 宏	1	13	
出 口 満 貴			3	6	市 川 日 香 梨	1	14	
青 木 友 莉 香			3	7	大 澤 由 季	3	16	
渡 邊 結 香	3	8						

バドミントン

(男子 2校 10名 女子 2校 10名 合計 20名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	皇學館高等学校	監督	楨 野 貴 行	/		
		コーチ	田 端 章 人	/		
		引率責任者	安 井 浩 子	/		
		マネージャー	澤 原 利 奈	1	学校対抗	
		選 手	荒 木 那 智	3	学校対抗	シングルス ダブルス
			矢 形 健 太 郎	3	学校対抗	シングルス ダブルス
			糺 谷 功 明	2	学校対抗	
			濱 野 翠 斗	2	学校対抗	
	齋 藤 峻		2	学校対抗		
	田 端 青 空	1	学校対抗			
	久 米 橋 幹 太	1	学校対抗			
暁高等学校	監督・引率	新 門 耕	/			
	選 手	甲 田 大 稀	3		ダブルス	
		名 田 慎 二 郎	2		ダブルス	
女 子	皇學館高等学校	監督・引率	安 井 浩 子	/		
		コーチ	楨 野 貴 行	/		
		マネージャー	三 宅 楓 夏	2	学校対抗	
		選 手	山 本 綺 音	3	学校対抗	シングルス ダブルス
			辻 井 彩 加	3	学校対抗	シングルス ダブルス
			村 田 愛 梨	3	学校対抗	
			山 本 純 白	2	学校対抗	
			大 峯 夏 帆	2	学校対抗	
	野 口 あ さ み		1	学校対抗		
	梅 本 み ふ あ	1	学校対抗			
	明野高等学校	監督	山 元 通 央	/		
		引率責任者	松 本 あ い	/		
		選 手	小 口 梨 紗	3		ダブルス
梅 村 優 衣			3		ダブルス	

相 撲

(男子 1校 5名 合計 5名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	宇治山田商業 高等学校	監 督	下 里 匡 希	/		
		引率責任者	新 谷 秀 樹	/		
		選 手	落 合 駿	1	先 鋒	個 人
			倉 田 朱 羽	1	二 陣	
			梅 澤 忠 秀	2	中 堅	個 人
			尾 崎 友 則	3	副 将	
小 川 兼 輝	3	大 将	個 人			

柔 道

(男子 2校 16名 女子 5校 16名 合計 32名)

種 別	所属校	監督・引率選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	名張高等学校	監 督	稲 澤 真 人	/		
		引率責任者	中 川 裕 喜	/		
		選 手	増 田 良 生	2	先 鋒	1 0 0 kg級
			佐 藤 慧 武	1	次 峰	
			山 本 亮 我	2	中 堅	1 0 0 kg超級
			藤 井 紀 斗	3	副 将	7 3 kg級
			中 窪 洸 貴	3	大 将	
			山 村 陸 斗	3	補 欠	8 1 kg超級
			亀 田 蓮	3		6 6 kg級
	四日市中央工業 高等学校	監 督 (個人代表監督)	弓 矢 竜 太	/		
		引率責任者	岩 本 裕 史	/		
		選 手	石 川 大 夢	3	先 鋒	9 0 kg級
			弓 矢 健 奨	3	次 峰	6 6 kg級
			菅 野 浩 輝	3	中 堅	8 1 kg級
			萩 大 地	3	副 将	1 0 0 kg級
			山 口 隆 乃	2	大 将	1 0 0 kg超級
			井 本 龍 星	3	補 欠	9 0 kg級
			城 野 琉 来	2		6 0 kg級
山 北 力 也	3			6 0 kg級		
伊 藤 栄 都	2		7 3 kg級			

柔 道

種 別	所属校	監督・引率選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
女 子	名張高等学校	監 督	宮 下 豊	/		
		引率責任者	加 納 浩 昭	/		
		選 手	高 山 紗 季	3	先 鋒	7 8 kg超級
			宮 橋 光	3	中 堅	7 8 kg級
			川 村 幸 穂	3	大 将	6 3 kg級
			堂 崎 月 華	3	補 欠	5 7 kg級
			牧 野 早 姫	3		5 2 kg級
			高 田 亜 依	1		7 0 kg級
			松 村 優 海	1		7 8 kg級
	四日市中央工業 高等学校		監 督	弓 矢 竜 太	/	
		引率責任者	岩 本 裕 史	/		
		選 手	上 野 山 真 紀	3	先 鋒	7 0 kg級
			山 口 空	3	中 堅	7 8 kg超級
			並 木 玲 阿	3	大 将	6 3 kg級
	西 芦 谷 雅		3	補 欠	4 8 kg級	
	四日市工業 高等学校	監督・引率	吉 田 聖 司	/		
		選 手	水 谷 汐 莉	1		7 8 kg超級
	高田高等学校	監 督	上 路 大 将	/		
		引率責任者	古 田 正 男	/		
		選 手	齋 藤 南 帆	3		5 7 kg級
			伊 勢 谷 晏 未	1		7 0 kg級
皇學館高等学校	監督・引率 (個人代表監督)	山 崎 陽 祐	/			
	選 手	宮 本 や ほ	3		4 8 kg級	
		瀬 古 蘭 奈	3		5 2 kg級	

剣 道

(男子 4校 16名 女子 3校 15名 合計 31名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	三重高等学校	監督・引率	浜 田 義 克	/		
		選 手	中 島 健 心	3	先 鋒	
			大 森 隆 将	3	次 峰	
			菱 田 和 輝	3	中 堅	
			宇 根 崎 優 翔	3	副 将	
			熊 澤 誠 人	3	大 将	個 人
			寫 田 瑞 希	2	補 欠	
			細 野 智 陽	2	補 欠	個 人
	四日市工業 高等学校	監督・引率	吉 田 裕 二	/		
		選 手	田 中 涼 太	2	先 鋒	
			加 藤 敦 也	2	次 峰	
			山 本 昇 平	2	中 堅	
			新 堂 泰 世	3	副 将	
			戸 松 幸 来	3	大 将	
			廣 瀬 雄 大	3	補 欠	
	岡 田 大 空	2	補 欠			
	津田学園高等学校	引率責任者	曾 我 彰 信	/		
		選 手	馬 場 佐 祐	3		個 人
	皇學館高等学校	引率責任者	里 中 利 哉	/		
		選 手	早 川 明 日 斗	1		個 人

剣 道

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
女 子	皇學館高等学校	監 督	尾 上 誠 郎	/		
		引率責任者	川 村 朱 香	/		
		選 手	境 井 葵	3	先 鋒	
			高 宮 彩 花	3	次 峰	個 人
			斉 藤 さ ち	2	中 堅	個 人
			玉 野 友 香 理	3	副 将	個 人
			早 川 愛 菜	2	大 将	
			濱 口 あ さ ひ	3	補 欠	
	堀 里 菜 子		3	補 欠		
	三重高等学校	監督・引率	尾 上 菜 智	/		
		選 手	稲 垣 千 宙	2	先 鋒	
			南 出 奈 々 子	3	次 峰	
			廣 瀬 文 香	3	中 堅	
			笹 井 麻 鈴	2	副 将	
			中 田 紗 矢	3	大 将	
			前 川 優 衣	2	補 欠	
			伊 藤 綾 香	2	補 欠	
桑名高等学校	引率責任者	大 橋 美 和	/			
	選 手	飯 田 春 菜	3		個 人	

弓 道

(男子 3校 8名 女子 2校 7名 合計 15名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	松阪工業高等学校	監督・引率	栩 原 洋	/		
		選 手	青 井 海 斗	3	団 体	
			畑 竜 成	2	団 体	
			小 山 絢 世	2	団 体	
			中 津 愛 斗	2	団 体	
			辻 慎 矢	2	団 体	
			山 川 陸	2	団 体	
	久居高等学校	監督・引率	東 出 直 子	/		
		選 手	川 邊 真 生	3		個 人
	鈴鹿工業高等 専門学校	監督・引率	飯 島 和 人	/		
		選 手	清 水 海 斗	3		個 人
	女 子	伊勢高等学校	監督・引率	玉 村 泰 寛	/	
選 手			井 上 み ず ず	3	団 体	個 人
			寺 井 ひ び き	2	団 体	
			本 城 美 紗 稀	3	団 体	
			中 村 緋 耀 里	3	団 体	
			中 世 古 和 奏	3	団 体	
			竹 内 千 景	3	団 体	
四日市メリノール 学院高等学校		監督・引率	竹 神 佐 織 里	/		
		選 手	齋 木 玲 那	3		個 人

登 山

(男子 2校 8名 女子 2校 8名 合計 16名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年
男 子	四日市工業高等学校	監 督 連絡責任者	野 村 和 弘	/
		選 手	奥 山 裕 矢	3
			竹 野 雷 千	3
			村 松 雄 太	3
			渥 美 駿	3
	神戸高等学校	監 督	伊 藤 直 司	/
		連絡責任者	岸 田 誠 司	/
		選 手	田 中 伸 玖	3
			吉 見 峻 河	2
			毛 塚 颯 太	2
藤 田 和 真			2	
女 子	神戸高等学校	監 督	梅 村 昌 宏	/
		連絡責任者	岸 田 誠 司	/
		選 手	田 辺 夏 子	3
			坂 本 小 雪	2
			今 村 美 月	1
			宮 部 愛 美	1
	いなべ総合学園 高等学校	監 督 連絡責任者	西 山 泰 徳	/
		選 手	當 間 友 愛	3
			鈴 木 麻 央	3
			久 古 め ぐ み	3
二 井 直 香			3	

ウェイトリフティング

(男子 4校 18名

合計 18名)

種別	所属校	監督・引率 選手	氏名	学年	階級
	亀山高等学校	総監督 (亀山高校監督)	石井 伸子	/	
	四日市中央工業 高等学校	セコンド	森 悠 郎	2	
男子	四日市工業 高等学校	監督	宮崎 彰也	/	
		選手	大塚 涼太	2	56kg級
			三原 大輝	3	56kg級
			加藤 淑郎	3	56kg級
			岩佐 拓真	3	62kg級
			小崎 雄太	3	69kg級
			片岡 奎輔	2	85kg級
	四日市中央工業 高等学校	監督	森 浩之	/	
		選手	松本 達也	3	53kg級
			河村 勉	3	53kg級
			岡本 光世	3	62kg級
			加賀 悠也	2	62kg級
	吉田 直紀	3	77kg級		
	石薬師高等学校	監督	玉城 圭尚	/	
		選手	加藤 樹	2	69kg級
			中森 航平	3	+105kg級
	亀山高等学校	選手	前田 雄飛	3	69kg級
			谷川 龍人	3	77kg級
増田 竜星			3	94kg級	
加藤 佑汰			3	105kg級	

レスリング

(男子 4校 35名 女子 4校 7名 合計 42名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	いなべ総合学園 高等学校	監督 (個人代表監督)	藤 波 俊	/		
		コーチ	永 本 健 太	/		
		選 手	古 瀬 稜	1	5 1 kg級	5 1 kg級
			弓 矢 暖 人	2	5 5 kg級	5 5 kg級
			太 田 陸 斗	3	6 0 kg級	6 0 kg級
			太 田 匠 海	1	6 5 kg級	6 5 kg級
			徳 力 貫 太	3	7 1 kg級	6 5 kg級
			山 崎 然 生	2	8 0 kg級	8 0 kg級
			伊 藤 史 門	3	補員 5 5 kg級	5 5 kg級
			徳 力 哲 太	2	補員 6 0 kg級	6 0 kg級
			伊 藤 隼	2	補員 7 1 kg級	7 1 kg級
			増 谷 瞭	1	補員 8 0 kg級	補員 8 0 kg級
		伊 藤 海	2		7 1 kg級	
	朝明高等学校	監督 (個人代表監督)	橋 爪 幸 彦	/		
		コーチ	中 田 陽	/		
		選 手	高 塚 晴 成	1	5 1 kg級	補員 5 1 kg級
			早 川 大 翔	3	5 5 kg級	補員 5 5 kg級
			芝 田 絢 登	3	6 0 kg級	補員 6 0 kg級
			山 本 晃 聖	2	6 5 kg級	補員 6 5 kg級
			佐 野 瑠 栄	2	7 1 kg級	8 0 kg級
			千 種 紀 裕	3	8 0 kg級	9 2 kg級
			佐 藤 遥 希	3	1 2 5 kg級	補員 1 2 5 kg級
			飯 田 蓮	2	補員 6 0 kg級	
			唐 沢 天 佑	2	補員 6 5 kg級	
			尾 崎 勝 海	1	補員 7 1 kg級	
			川 村 涼 太	2	補員 8 0 kg級	
川 崎 誠	1			補員 5 1 kg級		
濱 田 翔	2		補員 5 5 kg級			
森 祐 太	1		補員 8 0 kg級			
関 谷 嵐	1		補員 9 2 kg級			
伊 藤 光 輝	1		補員 9 2 kg級			

レスリング

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	四日市四郷 高等学校	監 督	森 保 弘	/		
		選 手	中野 虎太朗	2		1 2 5 kg級
			福田 陸人	2		補員 7 1 kg級
	松阪工業 高等学校	監 督	奥村 拓生	/		
		コーチ	伊藤 也	/		
		選 手	中本 公平	2		5 1 kg級
			関岡 匠	2		9 2 kg級
			西村 麻凜	3		1 2 5 kg級
			北川 睦樹	3		補員 6 0 kg級
			橋本 創太	1		補員 6 5 kg級
	的場 勇斗	1		補員 7 1 kg級		
女 子	いなべ総合学園 高等学校	監 督	藤波 俊	/		
		コーチ	永本 健太	/		
		選 手	吉岡 紗希	3		5 0 kg級
			戸 優菜	3		5 3 kg級
	朝明高等学校	監 督	橋爪 幸彦	/		
		コーチ	中田 陽	/		
		選 手	小林 ゆう	2		4 7 kg級
			二宮 桐香	2		5 7 kg級
			カナレス ジャネラ	2		7 4 kg級
	四日市四郷 高等学校	監 督	森 保 弘	/		
		選 手	仁木 希美	3		6 8 kg級
	久居高等学校	監 督	箕浦 健太	/		
		コーチ	高瀬 覚	/		
選 手		水谷 祐佳	1		6 2 kg級	

自 転 車

(男子 2校 11名 女子 1校 1名 合計 12名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	朝明高等学校	監督・引率	松 本 諒 太	/		
		チーム サポート	百 々 敦 史	/		
		選 手	稲 葉 雄 大	3		4 km速度競争
			大 山 龍 司	3		スクラッチ レース
			竹 野 太 喜	3		スプリント
			望 月 裕 大	3		1 kmタイム トライアル
			土 田 裕 希	3		ポイントレース ロードレース
			武 雄 雷 人	3		ロードレース
			谷 口 翔 大	3		ロードレース
			伊 藤 京 介	1		補 欠
			伊 藤 竜 哉	2		補 欠
	堀 田 亘 宏	3		補 欠		
	三重高等学校	監 督	関 八 洲 雄	/		
選 手		小 西 晴 己	2		ケイリン ロードレース	
女 子	朝明高等学校	監督・引率	松 本 諒 太	/		
		チーム サポート	百 々 敦 史	/		
		選 手	澤 瀉 つ ぐ み	2		ケイリン ロードレース

ヨット

(男子 1校 9名 女子 1校 4名 合計 13名)

種別	所属校	監督・引率 選手	氏名	学年	出場種目
男子	津工業高等学校	監督・引率	伊藤 秀郎		
		選手	館 優真	3	男子420級
			森 隆仁	3	男子420級
			木下 太陽	2	男子420級
			中野 隼斗	2	男子420級
			田口 刀磨	2	男子420級
			熊本 悠人	2	男子420級
			木村 颯太	2	男子420級
			宮原 京介	2	男子420級
			福田 廉	3	男子レーザーラジアル級
女子	津工業高等学校	監督・引率	吉澤 宏治		
		選手	神宮司 美優	2	女子420級
			間中 なほこ	2	女子420級
			濱崎 望結	2	女子420級
			竹内 くるみ	1	女子420級

ボート

(男子 3校 11名 女子 2校 11名 合計 22名)

種別	所属校	監督・引率 選手	氏名	学年	出場種目
男子	津高等学校	監督	多羅尾 晃	/	
		選手	野呂 優佑	2	舵手付きクォドルプル
			千葉 早翔	2	舵手付きクォドルプル
			松本 幸大	3	舵手付きクォドルプル
			馬場 拓海	2	舵手付きクォドルプル
			吉田 峻	2	舵手付きクォドルプル
			林 淳太	2	舵手付きクォドルプル(補欠)
			山本 惇司	2	舵手付きクォドルプル(補欠)
	相可高等学校	監督	伊藤 大輔	/	
		選手	吉田 礼	3	シングルスカル
	昂学園高等学校	監督	後藤 友昭	/	
		選手	辻本 竜也	3	ダブルスカル
			小西 由太	3	ダブルスカル
田中 未紗輝			3	ダブルスカル(補欠)	
女子	津高等学校	監督	多羅尾 晃	/	
		選手	中井 湧水	2	シングルスカル
			大市 日向	2	ダブルスカル
			林 沙也加	3	ダブルスカル
			大田 ゆい	1	ダブルスカル(補欠)
	津商業高等学校	監督	三浦 崇彰	/	
		選手	吉川 理々花	3	舵手付きクォドルプル
			大庭 杏香	3	舵手付きクォドルプル
			安休 琴音	2	舵手付きクォドルプル
			白石 りん	2	舵手付きクォドルプル
			岩間 美侑	2	舵手付きクォドルプル
			岩崎 成美	2	舵手付きクォドルプル(補欠)
			濱口 美由	2	舵手付きクォドルプル(補欠)

フェンシング

(男子 2校 7名 女子 2校 7名 合計 14名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	海星高等学校	監督・引率	日 向 和 義	/		
		選 手	佐 藤 光 琉	3	団 体	フルーレ
			帯 山 陸	3	団 体	
			服 部 峻 介	3	団 体	
			小 崎 磨	1	団 体	フルーレ
			木 場 悠 斗	1	団 体	
			小 津 貴 慈	3		エペ
	鳥羽高等学校	監督・引率	松 本 優	/		
		選 手	小 久 保 遥 斗	3		サーブル
女 子	津東高等学校	監督・引率	大 野 幸 太	/		
		選 手	奥 田 あ や	3	団 体	フルーレ
			岡 田 悠	3	団 体	
			上 島 果 穂	3	団 体	サーブル
			倉 田 美 月	2	団 体	
			伊 達 朱 美	2	団 体	
			飯 田 愛 菜	3		エペ
	鳥羽高等学校	監督・引率	松 本 優	/		
		選 手	那 須 茜	2		フルーレ

ボクシング

(男子 4校 7名 合計 7名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	階 級
	明野高等学校	監 督 (明野高校引率)	木 島 勇 喜	/	
	久居高等学校	コ ー チ (久居高校引率)	片 山 太 郎	/	
		セカンド	国 吉 弘 記	/	
男 子	朝明高等学校	引率責任者	森 雅 幸	/	
		選 手	落 合 快 斗	3	ライト級
	四日市工業高等学校	引率責任者	儀 賀 雄 紀	/	
		選 手	大 杉 兼 心	1	フライ級
	久居高等学校	選 手	桑 原 誠	3	ライトフライ級
			中 島 鉄 人	1	ライトウェルター級
			高 木 英 二	2	ミドル級
	明野高等学校	選 手	中 谷 心 矢	2	ピン級
			久 保 田 瑠 依	2	バンタム級

空手道

(男子 1校 8名 女子 2校 10名 合計 18名)

種別	所属校	監督・引率 選手	氏名	学年	出場種目	
					団体	個人
男子	四日市四郷高等学校	監督・引率	佐々木 啓			
		選手	大田 正人	3	組手	組手
			大瀧 雄也	3	組手	
			中山 諒	3	組手	
			石田 力穂	2	組手	組手・形
			角矢 卓弥	2	組手	
			儀賀 貴琉	1	組手	
			園田 大騎	1	組手	
			八塚 楓真	1		形
女子	川越高等学校	監督・引率	酒井 佑紀			
		選手	畑中 愛琳	3	組手	形
			大森 伊ぶき	3	組手	
			岡 里穂	3	組手	
			伊藤 香乃	2	組手	
			右城 沙也花	2	組手	
			加藤 小梅	2	組手	
			塩野 七海	1	組手	
	四日市商業高等学校	監督・引率	羽場 勝弘			
		選手	稲垣 朱織	3		形
			清水 英梨香	3		組手
			小林 実夢	2		組手

なぎなた

(女子 2校 15名 合計 15名)

種別	所属校	監督・引率 選手	氏名	学年	出場種目	
					団体	個人
女子	稲生高等学校	監督・引率	松井 千夏	/		
		選手	伊東 歩花	3	試合	試合・演技
			青木 実歩	2	試合	
			糸川 緋菜	2	試合	演技
			糸川 千菜	2	試合	演技
			王 子怡	2	試合	演技
			落合 凜星	2	試合	試合・演技
			佐藤 彩香	2	試合	
			古市 女神	3		演技
	高田高等学校	監督・引率	藤山 真澄	/		
		選手	和田 友香	3	試合	
			直田 李穂	2	試合	演技
			長田 梨奈	2	試合	試合・演技
			中尾 桜子	2	試合	試合
			垣本 江璃	2	試合	
高林 由珠			1	試合		
脇田 悦	1	試合				

アーチェリー

(男子 2校 5名 女子 2校 5名 合計 10名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	海星高等学校	監督・引率	紅 林 堯 樹	/		
		選 手	長 谷 川 響 也	3	団 体	
			長 谷 川 真 也	3	団 体	
			打 田 琉 稀	3	団 体	
			木 本 達 也	3	団 体	
	四日市四郷高等学校	監 督	久 野 圭 太	/		
		引率責任者	田 中 吾 飛 夢	/		
		選 手	田 木 亮 成	2		個 人
女 子	四日市四郷高等学校	監 督	久 野 圭 太	/		
		引率責任者	田 中 吾 飛 夢	/		
		選 手	眞 弓 怜 奈	2	団 体	
			松 井 香 奈 依	3	団 体	
			白 木 月 美	2	団 体	
			岩 田 樹 璃	1	団 体	
	四日市南高等学校	監督・引率	田 中 吾 飛 夢 (四日市四郷高校)	/		
		選 手	中 山 千 遥	3		個 人

カヌー

(男子 1校 13名 女子 1校 5名 合計 18名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目
男子・女子	桑名西高等学校	監督	濱 口 洋 輔	/	
		引率者	加 藤 博 喜	/	
男 子	桑名西高等学校	選 手	大 野 真	3	カヤックシングル(200m・500m)
			佐 治 陽 己	3	カヤックペア(200m・500m)
			近 藤 虹 介	3	カヤックペア(200m・500m)
			伊 藤 真 紘	2	カヤックフォア(200m・500m)
			岡 田 拓 己	2	カヤックフォア(200m・500m)
			服 部 太 紀	2	カヤックフォア(200m・500m)
			西 添 太	2	カヤックフォア(200m・500m)
			加 藤 匠 海	2	カヤックフォア(200m・500m) 補欠
			竹 内 滉 基	3	カナデ ^テ イアンシングル(200m・500m) カナデ ^テ イアンペア(200m・500m) カナデ ^テ イアンフォア(200m・500m)
			太 田 光 多 朗	3	カナデ ^テ イアンペア(200m・500m) カナデ ^テ イアンフォア(200m・500m)
			水 谷 謙 太	2	カナデ ^テ イアンフォア(200m・500m)
			小 澤 優 希	2	カナデ ^テ イアンフォア(200m・500m)
			木 村 優 心	2	カナデ ^テ イアンフォア(200m・500m) 補欠
女 子	桑名西高等学校	選 手	渡 邊 彩 加	2	カヤックシングル(200m・500m) カヤックペア(200m・500m) カヤックフォア(200m・500m)
			野 呂 幸 穂	2	カヤックペア(200m・500m) カヤックフォア(200m・500m)
			甲 斐 娑 耶 香	3	カヤックフォア(200m・500m)
			大 橋 唯 乃	2	カヤックフォア(200m・500m)
			後 藤 あ ゆ	1	カヤックフォア(200m・500m) 補欠

少林寺拳法

(男子 3校 10名 女子 3校 4名 合計 14名)

種 別	所属校	監督・引率 選手	氏 名	学年	出場種目	
					団体	個人
男 子	鳥羽商船 高等専門学校	引率責任者	白 石 和 章	/		
		引率者	深 見 佳 代	/		
		引率者	西 川 雅 堂	/		
		選 手	清 水 大 椰	3	団体演武	単独演武
			上 原 俊 介	3	団体演武	
			水 原 直 大	3	団体演武	
			三 輪 恭 也	2	団体演武	組演武
			伊 舎 堂 永	2	団体演武	組演武
			榑 原 康 太	2	団体演武	
			岡 本 凌 弥	2	補 欠	
	四日市中央工業 高等学校	引率責任者	守 口 直 輝	/		
		選 手	新 村 拓 己	1		組演武
			谷 口 未 流	1		組演武
	伊賀白鳳高等学校	引率責任者	小 松 容 子	/		
		選 手	金 正 辰 也	2		単独演武
女 子	四日市四郷高等学校	引率責任者	村 山 砂 由 美	/		
		選 手	中 久 木 千 姫	1		組演武
			渡 邊 真 衣	1		組演武
	四日市工業高等学校	引率責任者	海 津 ま ゆ み	/		
		選 手	遠 藤 歆 奈	3		単独演武
	菰野高等学校	引率責任者	高 屋 覚 之	/		
		引率者	上 原 隆 司	/		
		引率者	前 田 恵 里	/		
選 手		安 田 彩 葉	1		単独演武	

全国に広がる ミニミニ ネットワーク

全国約 500 店舗のミニミニネットワークで
皆様のお部屋探しをサポートいたします



写真はイメージです

ミニミニ・ミニテックは、三重県高等学校体育連盟を応援しています。

今すぐ
アクセス!!



いつでもどこでもラクラク検索!
理想のお部屋探しがスムーズにできます!

お部屋探しの強い味方

アパート・マンションの総合管理

mini mini mini tech

スマホから!

パソコンから!

ラクラクお部屋探し!

ミニミニ

検索

<http://minimini.jp>



◀◀◀ ※ホームページの内容・デザインは予告なく変更する場合があります。